

第3期栗原市スポーツ推進計画 SPORTS PROMOTION PLAN

令和5年策定
栗原市教育委員会

あ い さ つ



栗原市では、「市民の健康保持と体力向上を図るための、スポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりの推進」を方針に掲げるとともに「楽しさと活力ある生涯スポーツの推進」を中核に据え、「第2期栗原市スポーツ推進計画」を基に、多様な施策を展開してまいりました。また、国においては、今後のスポーツ施策の方向性を示す「第3期スポーツ基本計画」が令和4年3月に策定され、3つの「新たな視点」が示されたところです。これを受け、市としても、これまでの基本方針を継承しつつ、スポーツに関する現状や社会変化を踏まえ「第3期栗原市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

スポーツは、健康や心身の調和を促し、私たちの生活に豊かさをもたらす重要な役割を果たしています。この計画が、市民の皆様がスポーツを「する」「みる」「ささえる」という多様な方法で関わり、共に楽しみながら、活気ある社会づくりを進めるための指針となることを期待するものであります。

近年、スポーツの役割や在り方は大きな変革を遂げています。新型コロナウイルス感染症の影響も鑑み、私たちはスポーツの真価や意義を再評価し、それを通して社会に寄与する方法を模索してまいりました。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を通して、選手たちの努力と感動的な瞬間は、スポーツが人々の心を結びつけ、希望と勇気を鼓舞する力を持つものと再認識することができました。

私たちは、この計画を通して、健康づくりや地域づくり、共生社会の推進などの幅広い視点から、より多くのスポーツ機会に参加いただく機運を高め、市民の皆様からのご意見やアンケートなどをもとに、計画の進捗や実施内容を定期的に評価、改善しながら、より魅力的で躍動感あるスポーツ環境を築くことを目指してまいります。

結びに、この計画の策定に際し、貴重なご意見を提供して下さった栗原市スポーツ推進審議会をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和5年

栗原市教育委員会
教育長 千葉 睦子

目次

第Ⅰ章 総論

第1節	スポーツの意義	1
第2節	計画策定の背景	2
第3節	第2期計画の総括的な評価	3
第4節	計画の基本方針	4～5
	(1)計画の趣旨	
	(2)計画の視点と目標	
	(3)計画の実施期間	
	(4)持続可能な開発目標（SDGs）との関連性について	

第Ⅱ章 スポーツ推進施策の展開

第1節	生涯スポーツの推進	6～10
	(1)ニュースポーツ・コミュニティスポーツの充実	
	(2)子どものスポーツ機会創出と体力の向上	
	(3)働く世代、子育て世代のスポーツ活動の促進	
	(4)高齢者スポーツの活動支援	
	(5)総合型地域スポーツクラブの育成	
第2節	スポーツ活動の推進	11～13
	(1)継続した指導活動への支援	
	(2)選手の育成強化と活動支援	
	(3)学校部活動の地域移行に向けた体制整備	
第3節	スポーツ環境づくりの推進	14～17
	(1)情報発信の強化と社会体育施設の利便性向上	
	(2)体育施設の適正な管理	
	(3)共生社会の実現に向けた取り組み	
	(4)スポーツを通じた地域活性化	

第Ⅲ章 アンケート調査

第1節	市民の運動・スポーツに関するアンケート調査概要	18～19
第2節	調査結果及び分析	20～40

第Ⅳ章 資料編

◇栗原市スポーツ推進計画策定経過	41
◇栗原市スポーツ推進審議会名簿	42
◇社会体育施設概要	43～54

第1章 総論

第1節 スポーツの意義

第2節 計画策定の背景

第3節 第2期計画の総括的な評価

第4節 計画の基本方針

(1)計画の趣旨

(2)計画の視点と目標

(3)計画の実施期間

(4)持続可能な開発目標（SDGs）との関連性について

第I章 総論

第1節 スポーツの意義

スポーツは、人生をより豊かで充実したものとするとともに、身体的・精神的な欲求にこたえる世界共通の文化として定着しており、明るく活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠なものです。生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有しています。

近年のスポーツは、健康増進や体力向上、競技を楽しむといった「する」スポーツをはじめ、プロの華麗なプレーを「みる」スポーツや、指導者やボランティアとして「ささえる」スポーツなど、楽しみ方や関わり方が多様化しています。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、スポーツがいわば「不要不急」のものであるように扱われ、日々の生活から失われたり、制限されるというような状況が起きました。結果として、個人においては、体力の低下やストレスの増大、社会においては、交流不足や企業収益の低下など、各所に重大な影響を与えました。

そのような状況の中、東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、大会開催の是非を含め、様々な声がありましたが、徹底した感染症対策のうえ、1年の延期を経て開催されました。困難な状況下においてもトップアスリートが全力で競技に挑む姿や、競技終了後、お互いを称え合う姿は人々に感動を与えました。また、「オリ・パラ一体」※1を目指す中で、共生社会を育むことの重要性が示されるなど、大会を通じて得られた経験は、今後のスポーツ発展において、極めて重要な意義を持つとされ、世界中が改めてスポーツの価値を認識することとなりました。

これまでも、スポーツは体を動かしたいという人間の基本的欲求を満たすとともに、精神的充足を図ることで、ライフスタイルをより豊かにするものとして期待されてきました。今回、改めて認識された「スポーツが持つ価値」の重要性を踏まえ、だれもがスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指していくことが求められています。

※1「オリ・パラ一体」

→ オリンピック・パラリンピック一体の略で、「多様性と調和」を基本的なコンセプトの1つとして、競技力向上を含めて協力体制を築き、全体を通してあらゆる面での違いを受け入れて、互いに認め合う共生社会を育むことを言います。

第2節 計画策定の背景

市では、平成29年4月施行の第2次栗原市総合計画において、基本方針Ⅲ「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」の中で、「市民の健康保持と体力向上を図るため、市民が自主的に行うスポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりを推進します。」と施策方針を掲げるとともに、具体的な取り組みの方向性を示しています。また、栗原市教育基本方針では、「楽しさと活力ある生涯スポーツの推進」を掲げ、スポーツ活動の支援、社会体育事業や施設の充実に取り組むこととしています。

一方、国においては、平成24年3月に策定した「スポーツ基本計画」に基づき、10年間のスポーツ施策の基本的な方向性を示しており、平成29年3月には、「スポーツ参画人口の拡大」や「一億総スポーツ社会の実現」に取り組むことを基本方針とする「第2期スポーツ基本計画」を策定しています。さらに、令和4年3月には「東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展」を大きな命題として、我が国のスポーツの在り方や今後、総合的かつ計画的に取り組むべき施策を盛り込んだ「第3期スポーツ基本計画」を策定しています。

計画の中では、スポーツの価値として、人々の自発的な参画を通じて得られる「スポーツそのものが有する価値」のほか、スポーツを通じて、他の分野にも貢献し、様々な社会問題を解決することができるという、「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」の2つの観点があることが示されています。また、国民がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すためには、状況や変化に応じて、既存の枠組みにとらわれず、柔軟にスポーツを「①つくる／はぐくむ」視点、様々な立場、背景、特性を有した人・組織が「②あつまり、ともに、つながる」視点、性別や年齢、経済、地域事情等に関わらず、「③誰もがアクセスできる」視点の3つが必要であるとしています。

市では、平成20年3月に、市民のだれもが運動やスポーツ、レクリエーション活動に親しむことができる「夢と感動に満ちたスポーツライフ」の実現を目指して、実施期間を平成20年度から平成29年度までの10年間とする「栗原市スポーツ振興計画」を策定し、多様な施策に取り組んできました。

同計画では、おおよそ3年ごとに計画の進捗状況や成果を調査等で確認し、施策や事業の見直しと改善を加えていくとしており、平成25年3月に、市民の意識調査と計画の実施状況等を踏まえて、第1次改訂（併せて、「栗原市スポーツ推進計画」に名称変更）、平成28年3月に、第2次改訂を実施しました。また、平成30年3月には、市民の意識調査の結果と計画の進捗状況及び成果を踏まえつつ、実施期間を5年間とした、「第2期栗原市スポーツ推進計画」（以下「第2期計画」という。）を策定しています。

第3節 第2期計画の総括的な評価

第2期計画では、「市民一人ひとりが主体的にスポーツライフを形成する」ことを基本理念とし、以下の3つの重点目標を掲げ、達成に向けた施策を展開してきました。

◇市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率を50%以上にします。

市民の運動に対する健康意識の向上や、スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験の実施、市主催スポーツ大会の開催など、日常的な運動・スポーツ習慣の定着を図るため、施策を展開しました。市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率は、30.8%から46.7%まで向上し、目標値(50.0%)には至らなかったものの、一定の達成度を得たと考えられます。

今後においても、誰でも等しくスポーツが実施できる環境整備を行うなど、市民のスポーツ実施率向上へ向けた取り組みの継続が必要です。

市民の健康への意識を高め、より多くの人々が運動やスポーツを楽しめるような環境を整えることで、地域全体の健康と活力が向上し、市民の生活の質が向上することが期待されます。引き続き積極的な施策展開と市民参加の促進が重要です。

〔第Ⅲ章 市民の運動やスポーツに関するアンケート調査結果及び分析 P-22 問8-1〕

◇子どもたちのスポーツ活動を充実し、体力・運動能力を伸ばします。

市では、スポーツ少年団への活動支援をはじめ、子どもの運動やスポーツ機会の創出に取り組んでまいりました。令和4年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、一部の種目では全国や宮城県の平均を上回りましたが、全体的な平均値には及びませんでした。さらに、過去の数値と比較すると運動能力の低下傾向が見受けられるため、目標を達成したとは言えない状況です。

子ども時代の運動やスポーツ体験は、将来の健康に大きな影響を与えることが知られています。子どもたちが健全な体を持ち、運動に対する興味や意欲を育むことは、将来の社会全体の健康を支えるためにも重要です。そのためには、地域のスポーツ団体など各関係機関と連携して、子どもたちにとって魅力的で楽しい運動環境を提供し、健康的な生活習慣を身につけることを支援することが求められます。

〔第Ⅱ章 スポーツ推進施策の展開 P-7 県内小・中学生体力調査〕

◇市民の主体的なスポーツ活動の基盤と環境を整備します。

市では、市民の主体的なスポーツ活動の基盤と環境整備を重視し、社会体育施設や学校体育施設の有効活用を図り、市民がスポーツ活動に取り組みやすい環境づくりのため、施策を展開してきました。

しかしながら、令和3年度に実施した「市民の運動・スポーツに関するアンケート調査」では、「施設の数や設備等について満足している」と回答した人はわずか39.8%にとどまっています。数値目標は掲げていなかったものの十分に目標を達成したとは言えない状況です。また、30.3%の人が運動機会やスポーツイベントに関する情報提供が足りないと感じており、今後においても、さらなる環境づくりに向けた取り組みの継続が必要です。

〔第Ⅲ章 市民の運動やスポーツに関するアンケート調査結果及び分析 P-24 問8-5・P-29 問15-2〕

第4節 計画の基本方針

(1) 計画の趣旨

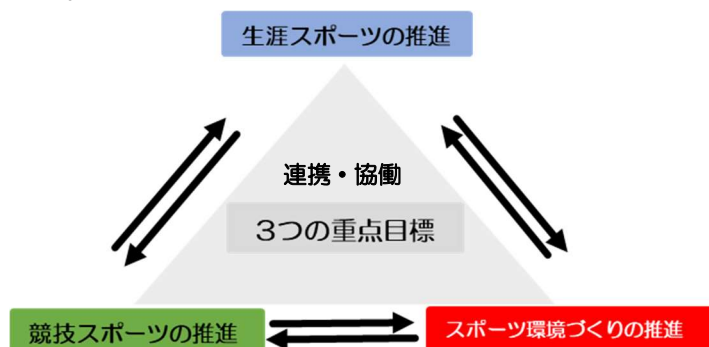
市のスポーツ推進は、スポーツを「健康で心豊かな暮らし（Well-being）※2を実感することができ、人々の主体的な参加を通して、目的を持って行う身体的活動全般」と捉え、「人と人の繋がりを大切にし、生涯を通じてスポーツに親しみ、健康・体力の保持増進によって活力ある生活」の実現を目指します。

そして、多様なスポーツ機会を創出するため、

『^ら楽・^ら楽・^ら楽スポーツ』 ～「する」楽しさ・「みる」楽しさ・「ささえる」楽しさ～

をスローガンに、以下の3つの柱を設け、中期的な視点に立ったスポーツ推進の基本的な施策として、相互に連携させながら推進します。

- 1 【生涯スポーツの推進】
- 2 【スポーツ活動の推進】
- 3 【スポーツ環境づくりの推進】



(2) 計画の視点と目標

市民の誰もが、生涯にわたって、運動やスポーツ、レクリエーション活動などを楽しむことができる環境を目指し、SDGsの観点に則ったスポーツの持続可能性の追求や、DX※3などの国が提唱するデジタル社会への対応など、幅広い視点でスポーツ推進を実施します。

さらに、本計画では、次の重点目標を掲げて施策を展開し、その達成を目指します。

【3つの重点目標】

- 『市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率を60%にします』
- 『子どもたちのスポーツ活動を充実させ、体力・運動能力が全国及び宮城県の平均を上回ります』
- 『主体的なスポーツ活動の基盤と環境づくりを推進し、市民のスポーツ環境に関する満足度を50%にします』

※2 「Well-being」

→ 「経済財政運営と改革の基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）においては、「人々の満足度」として示されている。

※3 「DX」

→ 「Digital Transformation」の略で、組織やビジネスのプロセス、サービス、製品など、デジタル技術を活用して変革することをいう。

(3) 計画の実施期間

これまでの計画は、平成20年度を初年度として、市の情勢と地域の現状や市民のニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を活性化するため、平成29年度までを実施期間として施策を推進してきました。また、平成30年3月には、計画の実施期間を令和5年3月までとした第2期計画を策定しています。

本計画については、国の「第3期スポーツ基本計画」（令和4年度～令和8年度）の策定を受け、通例に則ると、計画の実施期間を「5年間」とするところですが、次期計画の策定を見据え、本計画の終了年次を「宮城県スポーツ推進計画」の終期の1年後とすることで、国及び県の両計画を包括した情報のもと、今後より実現性の高い計画策定が可能となります。そのため、本計画では、令和5年度を初年度として令和10年度までの6年間を実施期間とします。

なお、今後においても、計画の進捗状況や国の政策動向などを踏まえながら、適宜「市民の運動・スポーツに関するアンケート調査」を行い、随時必要な見直しを実施していく方針とします。

◇スポーツ推進計画策定進行管理表

	推進計画	H24年度	～30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	～R14
国	スポーツ基本計画	第2期スポーツ基本計画 (H24～R3)					第3期スポーツ基本計画 (R4～R8)							
県	宮城県スポーツ推進計画	宮城県スポーツ推進計画 (H25～R4)					第2期宮城県スポーツ推進計画 (R5～R14)					※R9で見直し		
市	栗原市スポーツ推進計画	第2期栗原市スポーツ推進計画 (H30～R4)					第3期栗原市スポーツ推進計画 (R5～R10)							

(4) 持続可能な開発目標(SDGs)との関連性について

持続可能な開発目標(SDGs)は、平成27年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が、令和12年までの達成を目指す世界共通の目標で、持続可能かつ多様性、包摂性のある社会を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

スポーツは、それらを達成するために必要不可欠なツールとして注目されており、本計画においてもSDGsと共通の目的を持ち、相互に連携することで、より効果的に持続可能な社会の実現を目指します。



第Ⅱ章 スポーツ推進施策の展開

第1節 生涯スポーツの推進

- (1) ニュースポーツ・コミュニティスポーツの充実
- (2) 子どものスポーツ機会創出と体力の向上
- (3) 働く世代、子育て世代のスポーツ活動の促進
- (4) 高齢者スポーツの活動支援
- (5) 総合型地域スポーツクラブの育成

第2節 スポーツ活動の推進

- (1) 継続した指導活動への支援
- (2) 選手の育成強化と活動支援
- (3) 学校部活動の地域移行に向けた体制整備

第3節 スポーツ環境づくりの推進

- (1) 情報発信の強化と社会体育施設の利便性向上
- (2) 体育施設の適正な管理
- (3) 共生社会の実現に向けた取り組み
- (4) スポーツを通じた地域活性化

第Ⅱ章 スポーツ推進施策の展開

第1節 生涯スポーツの推進



あらゆるライフステージでスポーツをする習慣を身につけることで、健康と心身のバランスを維持するだけでなく社会性や楽しさ、自己実現など、多岐にわたる効果を楽しみ、生き生きと生活を送ることができる社会の実現を目指します。

(1) ニュースポーツ・コミュニティスポーツの充実

◇現状と課題

近年の健康志向の高まりにより、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツやコミュニティスポーツの推進が求められています。子どもから高齢者まで、誰もが簡単に楽しめるのが特徴で、運動不足や健康の保持増進を目的に多くの方々に親しまれています。

市では、スポーツ推進委員会を中心に様々な種目の紹介や、出前講座による指導を行っていますが、市民のスポーツ参加意欲をより高めるとともに、健康的な生活習慣の形成と、希薄になりつつある地域コミュニティの活性化に向けた取り組みが必要です。

◇到達目標

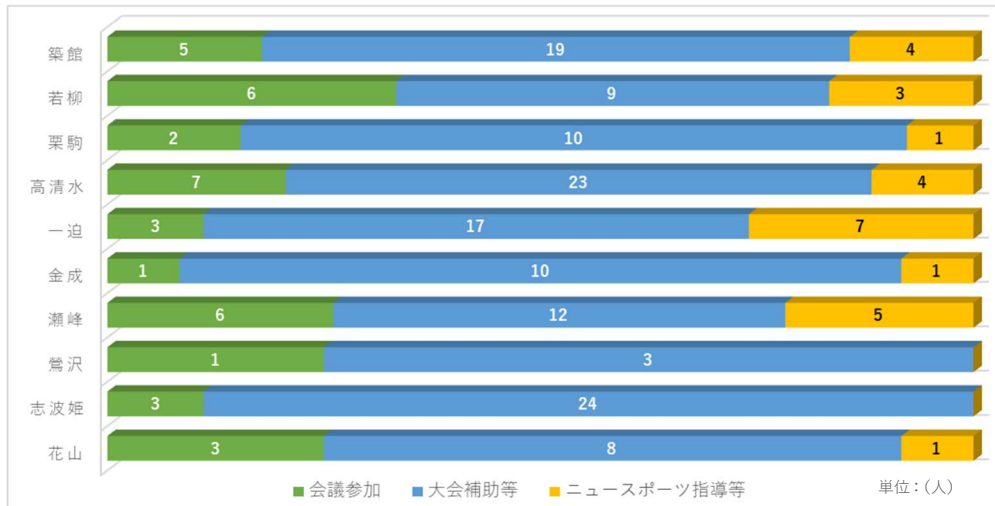
- ・ スポーツ文化の創造と普及
- ・ スポーツを通じた健康的な生活習慣の定着
- ・ 地域コミュニティの活性化
- ・ ニュースポーツ教室・イベント開催などのスポーツ機会の創出
- ・ 地域スポーツ活動の中心となる指導者の育成

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 親子や世代間スポーツイベントの開催と仲間づくりの支援
- ・ ニュースポーツ用具の充実と利用促進
- ・ 「い・ど・う市民セミナー」等を活用したニュースポーツの普及促進
- ・ スポーツ推進委員会によるニュースポーツ指導機会の拡充
- ・ スポーツリーダーを活用した地域スポーツ活動の活性化

【市スポーツ推進委員会活動状況】

〔資料：令和元年度 コロナ禍前の活動実績〕



(2) 子どものスポーツ機会創出と体力の向上

◇現状と課題

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、市内の児童生徒の体力レベルは、一部の種目では全国や宮城県の平均を上回りましたが、全体的な平均値には及びませんでした。さらに、過去のデータとの比較から、運動能力の低下傾向が明らかになっています。また、肥満傾向児の出現率も全国の水準を上回っており、男女を問わずその傾向が顕著に現れています。

子どもを取り巻く生活環境の変化により、運動や外遊びの時間、空間、仲間が減少しており、運動をする子どもとしない子どもの二極化が進んでいます。体力レベルの低下に歯止めをかけるとともに、健康づくりや生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤をつくるため、子どもの頃から様々なスポーツに触れる機会を創出する必要があります。

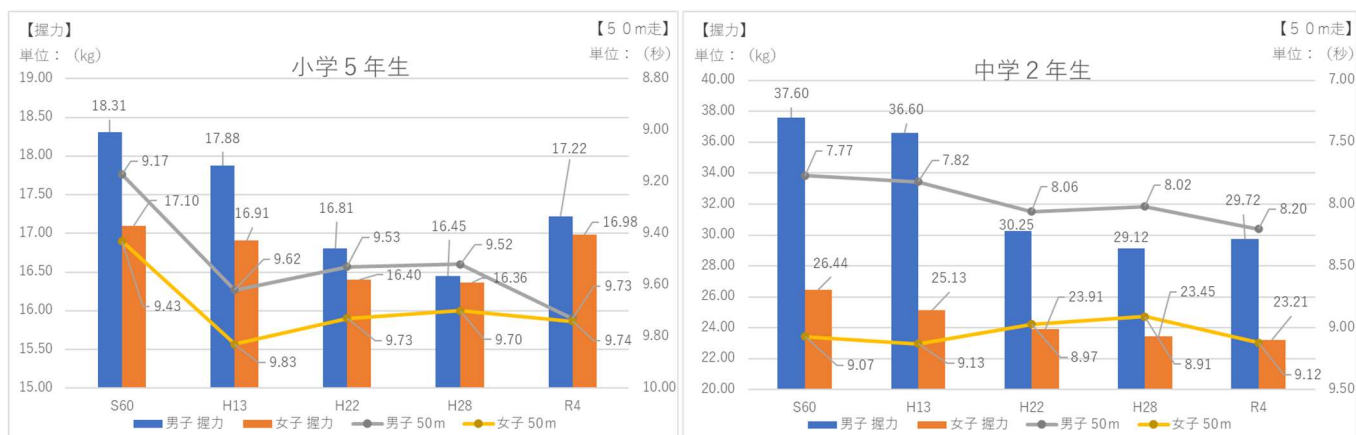
◇到達目標

- ・ 初めてスポーツに触れる機会の創出
- ・ 幼・少年期からの運動やスポーツ教室の開催
- ・ スポーツ少年団の活動支援、組織強化及び加入率の向上
- ・ 子どもの体力・運動能力の向上と肥満傾向児出現率の低減
- ・ 小・中学校のクラブ活動など教科体育以外におけるスポーツ機会の創出
- ・ 少年期のスポーツ選択肢の拡大

◇具体的な取り組みと施策の展開

- ・ 幼児期からの運動の必要性の啓発
- ・ 保育所や幼稚園、放課後児童クラブとの連携による遊びをとおしたスポーツの体験
- ・ スポーツ団体が開催する体験会の支援
- ・ 各スポーツ種目における普及事業開催

【県内小・中学生体力調査】



【資料：宮城県教育庁保健体育安全課】

(3) 働く世代、子育て世代のスポーツ活動の促進

◇現状と課題

令和3年度に実施した市民の運動・スポーツに関するアンケート調査の結果では、男女とも20歳代から50歳代が「週1日以上運動やスポーツを実施する」と回答した割合は、他の年代と比較して低くなっています。この年代は、現代社会における働く世代や子育て世代の中心であり、スポーツを実施したくても時間的制約などにより、実施しにくい現状が伺えます。それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ習慣の定着を目指し、環境整備と支援が必要です。

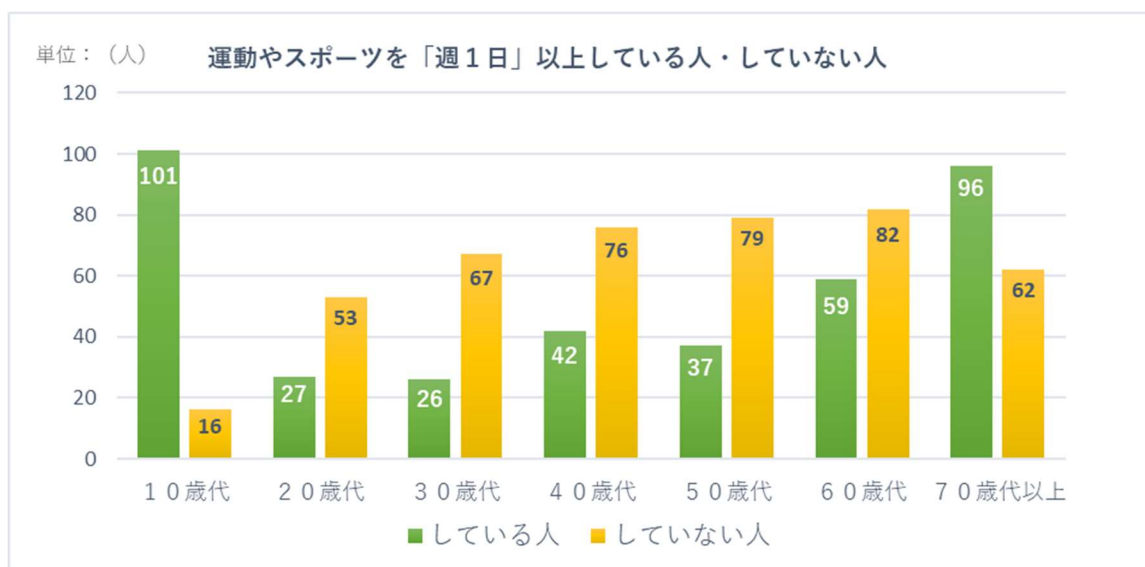
◇到達目標

- ・ ライフスタイルに応じたスポーツ習慣の定着
- ・ 生活習慣病の改善及びメンタルヘルスの保持増進
- ・ 20歳代から50歳代の運動やスポーツ実施率の向上

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 多様化するライフスタイルやニーズに応じ、継続したスポーツ機会の提供
- ・ 親子で参加できるレクリエーション、スポーツ教室を開催し、育児中でもスポーツができる機会の創出
- ・ 美容と健康を目的としたフィットネススポーツ事業の開催
- ・ 仕事の合間や休日におけるトレーニング施設等の利用促進

【年代別スポーツ実施率】



〔資料：市民の運動・スポーツに関するアンケート調査：R3年代別〕

(4) 高齢者スポーツの活動支援

◇現状と課題

令和3年度に実施した市民の運動・スポーツに関するアンケート調査の結果では、70歳代が「週1日以上運動やスポーツを実施する」と回答した割合は、他の年代と比較して高くなっています。これは、健康志向の高まりによって、時間や場所に制限なく行えるウォーキングなど、気軽に続けられる運動が定着しているものと言えます。

今後、スポーツを通じた健康保持増進を図るとともに、生きがいつくりにつながるよう、安全で楽しく運動できる環境整備を進め、健康長寿社会の実現を目指す必要があります。

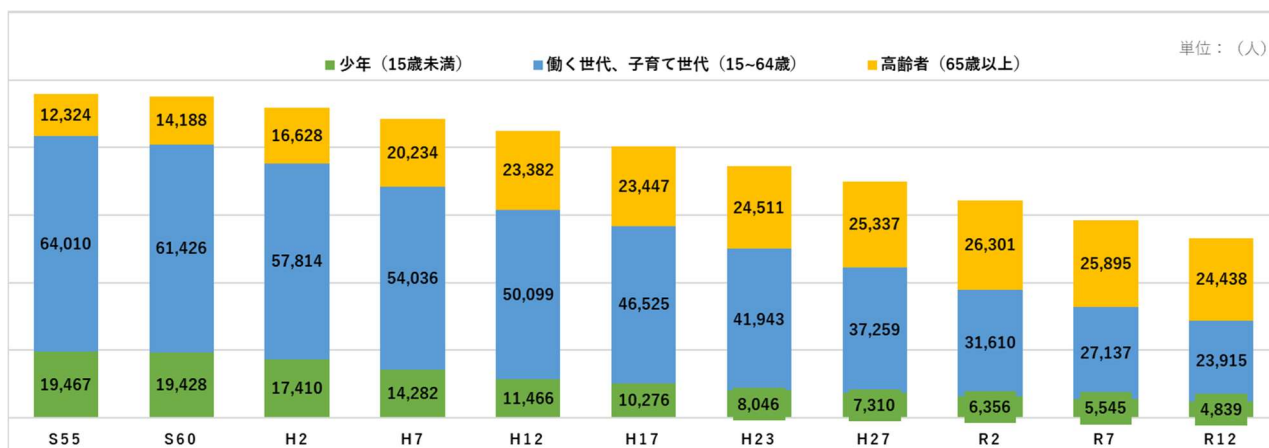
◇到達目標

- ・ 健康増進のための教室・講座や定期的な体力測定の実施
- ・ 高齢者スポーツ教室・体操教室、競技大会等の参加支援
- ・ スポーツを通じた生きがいつくりの啓発と社会参加への支援
- ・ スポーツ実施率の向上を通じて健康寿命の延伸に貢献

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 「ねんりんピック」等競技大会への積極的参加を促進し、競技と交流を通じた健康づくりと生きがいつくりの推進
- ・ 保健福祉事業や社会福祉関係団体との連携による健康づくりと高齢者相互の交流
- ・ 高齢者が憩い集えるパークゴルフ場などの施設や設備の充実
- ・ ウォーキングイベントなどの開催

【人口の推移（年齢構成別）】



〔資料：「第2次栗原市総合計画」人口推移見込み〕

(5) 総合型地域スポーツクラブの育成

◇現状と課題

誰もがスポーツに参画し、スポーツの価値を体感できる社会を実現するため「総合型地域スポーツクラブ」の創設が全国で進められてきました。

総合型地域スポーツクラブは、これまでの学校、企業、スポーツ団体、行政に多くを依存してきた地域スポーツ推進の在り方を見直し、自分たちの手でスポーツ文化を育て、地域に根付かせていくシステムに変えていくものです。

市内では、平成16年に「しわひめスポーツクラブ」、平成24年に「わかやなぎスポーツクラブ」が創設されました。今後、学校部活動の地域移行※4を進めていくにあたり、指導者の確保や育成の役割にも期待がかかっており、引き続き各地区でのスポーツクラブ創設支援や、既存クラブへの支援継続が必要です。

◇到達目標

- ・ スポーツクラブによる地域活性化を目指したスポーツ教室やイベントの開催
- ・ コミュニティをつないだ広域的なネットワークの構築
- ・ 総合型地域スポーツクラブの創設及び育成に関する支援

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 総合型地域スポーツクラブ設立検討会の開催
- ・ 学校部活動の地域移行に向けた指導者の確保と育成
- ・ クラブマネージャーの育成支援や専門性を生かしたスポーツセミナーの開催支援
- ・ 地域コミュニティ、スポーツ推進委員、スポーツ団体などと連携したスポーツ教室・イベントの開催

【市内スポーツクラブ設立状況】

名称	設立年月	会員数	主な活動
しわひめスポーツクラブ	平成16年3月	452人	各種スポーツセミナー、各種スポーツ事業・大会、スポーツ講習会・研修会、健康・体力相談、広報誌発行
わかやなぎスポーツクラブ	平成24年3月	169人	各種健康増進スポーツ事業、スポーツ講習会、スポーツ観戦、運動会協力

[資料：令和4年度クラブ総会資料]

※4「学校部活動の地域移行」

→ 公立中学校において、学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により、新たに地域クラブ活動を整備する部活動改革をいう。

令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」として、地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて早期の実現を目指すもの。

第2節 スポーツ活動の推進



選手、指導者、それを支える者が、それぞれの立場で情熱を持って取り組む姿勢は、人々に希望と勇気を与え、共感と連帯の精神を育みます。スポーツ活動の土台をしっかりと築くことは、市民が誇りを持って活動するために不可欠であり、スポーツが持つ可能性と魅力を最大限に引き出しつつ、豊かなスポーツ文化を形成していくために重要です。

(1) 継続した指導活動への支援

◇現状と課題

子どもたちのスポーツ活動は、スポーツ少年団や学校部活動が中心となっています。しかし、少子化による部員の減少や指導者不足により、地域や競技団体によっては、運営や活動の維持が困難になってきており、競技スポーツ活動の弱体化が進行しています。子どもたちの競技スポーツを維持する地域の受け皿として、活動拠点の整備と組織体制の構築が急務であり、今後、学校部活動の地域移行を推進していくにあたって、専門知識や高い技術に加え、コミュニケーション能力やリーダーシップなど、様々な要素を兼ね備えた質の高い指導者を確保していく必要があります。

そのため、実践的な指導者養成プログラムの構築や指導者同士の交流会・研修会の開催など、学校、地域、スポーツ団体との連携・協働のもと、子どもたちが安心してスポーツに取り組んでいける環境を確保していかなければなりません。

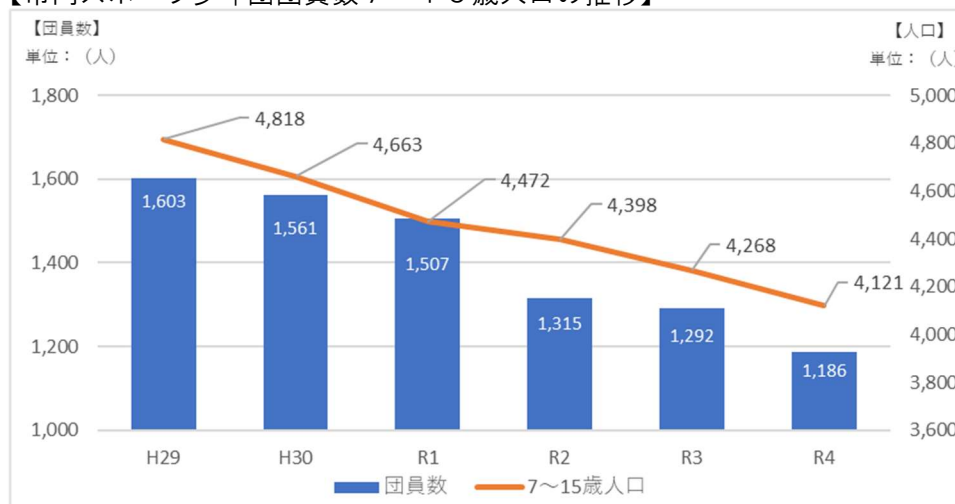
◇到達目標

- ・ 学校、地域、スポーツ団体が連携した指導體制の構築
- ・ 資質や能力を有する指導者の確保と育成
- ・ スポーツ教室や大会の開催支援

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSPO」という。）公認スポーツ指導者養成講習会等への参加支援
- ・ JSPO公認スポーツ指導者等資格更新に係る支援
- ・ 新しいスポーツ技術や知識を提供するセミナーや交流会の開催
- ・ 指導者間の交流会の開催

【市内スポーツ少年団団員数7～15歳人口の推移】



【資料：住民基本台帳登録人口並びに市スポーツ少年団登録状況】

(2) 選手の育成強化と活動支援

◇現状と課題

これまで、市内の選手の中から、県内のトップ選手たちとの激しい競争を乗り越え、数々の全国大会で活躍する優れた選手たちを輩出し、その才能を開花させてきました。

これらの功績の裏には、競技人口や熱心な指導者など、恵まれたスポーツ環境は欠かせませんが、近年、各競技団体においては、チームの編成すら困難になっています。また、指導者不足により、本人が求める指導を受けられず、スポーツに取り組むことを途中で諦めたり、離れてしまったりするなど、将来性に満ちた才能の芽を摘んでしまうことになりかねません。

そのため、選手個々の資質や能力の発掘からアスリート育成まで、一貫した強化体制の構築が必要です。

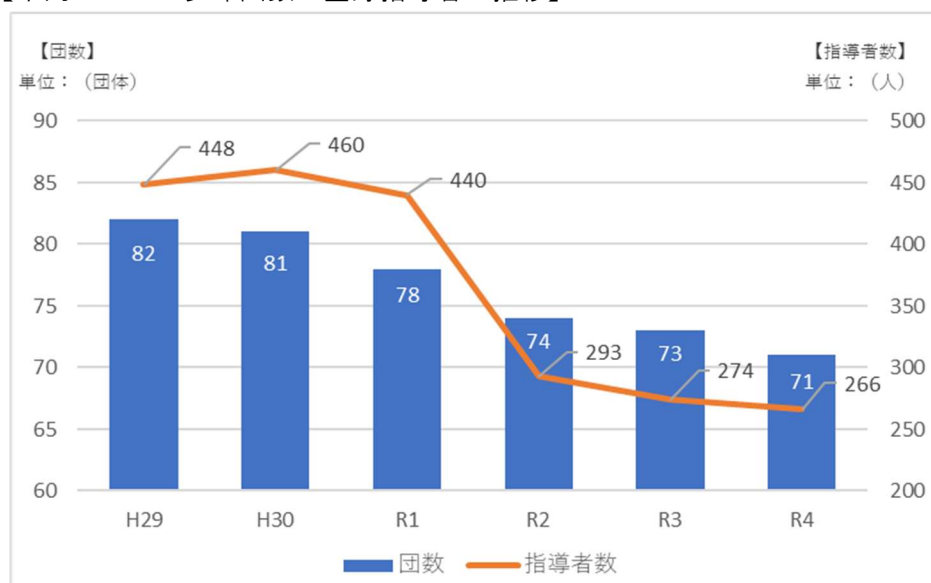
◇到達目標

- ・ ジュニア期から一般まで一貫した強化体制の構築
- ・ トップレベルの競技者が集中して競技に取り組むことのできる環境の構築
- ・ 全国大会や国際大会等で活躍する市出身選手の育成支援

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 各種団体で選抜された選手による強化練習会等の実施
- ・ スポーツ団体における育成プログラム等への参加促進
- ・ 各小・中・高校及び競技団体と連携を図り、強化合宿や合同練習会の開催
- ・ プロ・トップスポーツチーム等との交流機会の提供
- ・ 全国大会等への参加経費に対する助成の継続
(「目指せ！日本一」スポーツ推進事業)
- ・ 優秀な成績者への強化活動に対する助成の継続
(「やったね！日本一」スポーツ推進事業)

【市内スポーツ少年団数と登録指導者の推移】



【資料：市スポーツ少年団登録状況】

(3) 学校部活動の地域移行に向けた体制整備

◇現状と課題

中学校部活動については、生徒数の減少によりチーム編成が困難なため、大会に参加することができないなど、集団活動への影響が見られ始めています。市では、これまで競技経験のない教員が顧問になっている場合など、十分な技術的指導を行うため「外部指導者登録制度」による「外部指導者」の任用や部活動指導にあたる時間の確保が困難になっている教員に代わり、大会への引率を行うことができる「部活動指導員」の制度導入を検討してきました。

令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁は、少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、「学校部活動及び新たな地域活動の在り方に関するガイドライン」を策定し、休日の公立中学校の部活動を地域活動へ移行する方向性を示しました。また、県においても、国のガイドラインを受け、令和5年3月に、「学校部活動と地域のクラブ活動等のガイドライン」を策定し、今後の部活動及び地域クラブ活動の在り方を示しました。

市では、国及び県が示すガイドラインを踏まえ、まず、休日の学校部活動を地域活動に移行することを念頭に、スポーツ団体などの関係団体と協議会を設置し、地域の実情を考慮しながら、運営や実施方法など、その方向性を十分に検討します。

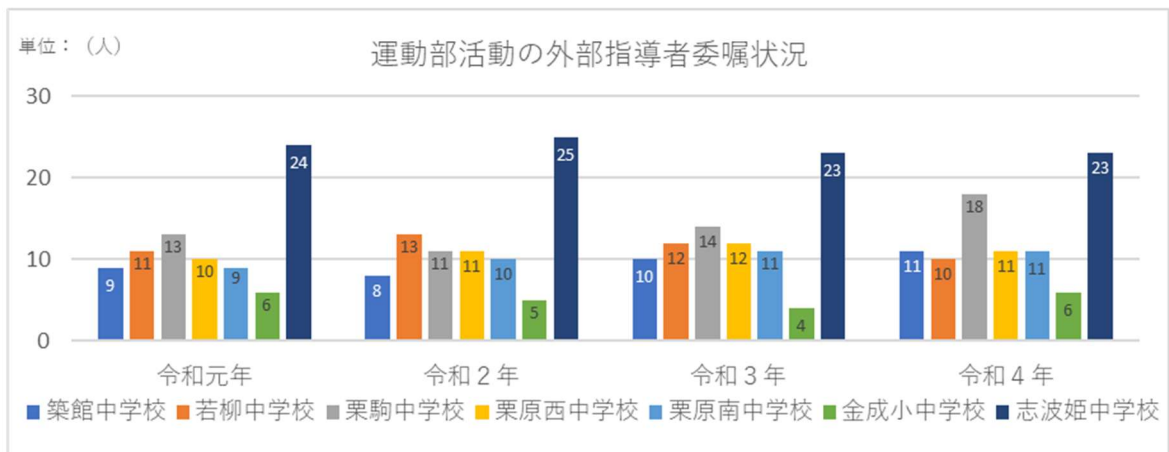
◇到達目標

- ・ 学校と地域が協働・連携したスポーツ環境の構築
- ・ 生徒が自主的に参加できる安全・安心な活動環境の構築
- ・ 地域クラブ活動を通じた地域活性化
- ・ アスリートを目指す生徒への高い専門技術指導体制の構築

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 「部活動指導員」の導入検討及び「外部指導者登録制度」の活用促進
- ・ 学校部活動の地域移行に向けた協議会の設置及び方向性の検討
- ・ J S P O公認スポーツ指導者養成講習会参加支援
- ・ スポーツ少年団やスポーツクラブなどのスポーツ団体との緊密な連携
- ・ スポーツ指導者の適切な評価と指導者養成プログラムの整備

【運動部活動の外部指導者委嘱状況】



〔資料：学校教育課調べ〕

第3節 スポーツ環境づくりの推進



誰もがスポーツに参加しやすい機会の創出と環境づくりには、「スポーツ機会の提供」、「指導者の確保」、「安全なスポーツ施設の持続的な提供」、「多様性の対応（性別や年齢、障害の有無）」など、多角的な視点から課題を捉え、総合的な解決策を見出していくことが重要です。少子高齢化が進むなか、社会の変化に合わせてスポーツのニーズも常に変化しており、活動基盤となる施設もまた、人口減少に伴い、量や質を見直す時期に差し掛かっています。これらの課題解決に向けて、地域に精通するスポーツ関係団体と連携しながら、スポーツを楽しむ人々の多様なニーズに応じた取り組みと計画的なスポーツ環境の整備が必要です。

（1）情報発信の強化と社会体育施設の利便性向上

◇現状と課題

市民一人ひとりの「運動・スポーツ実施率」は、健康志向の高まりによって増加しているものの、一方ではスポーツ関係団体が実施するスポーツイベントや教室などの参加率は低い状況です。誰もがもっと気軽に参加できる環境を創出するため、情報発信の強化が課題となっています。また、ウェブサイトを活用した施設予約や利用手続きの簡素化など、利便性を高める手法についても検討が必要です。

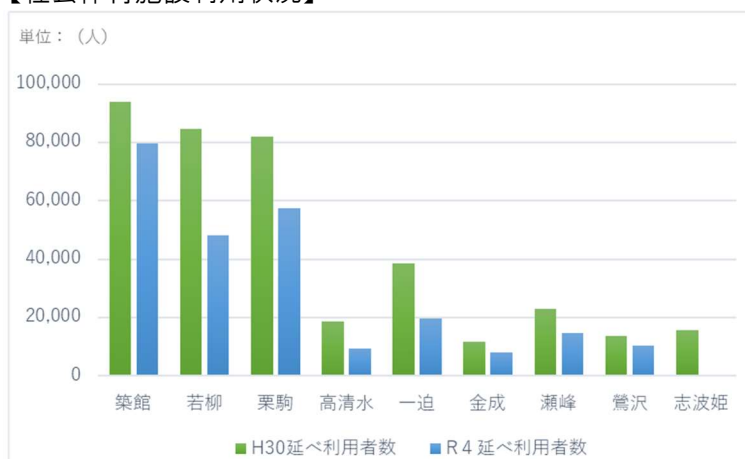
◇到達目標

- ・ 多様なスポーツ教室、レクリエーション事業等の企画、情報発信の促進
- ・ 市民のニーズに応じた施設の利用予約や利用手続きの簡素化
- ・ 指定管理者制度などを導入した効果的・効率的な管理体制の見直し
- ・ ウェブサイト等を活用した体育施設の利便性向上
- ・ 社会教育関係団体、学校体育施設利用者団体制度の有効活用

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ ウェブサイトを活用したスポーツイベントや教室の情報発信
- ・ 予約情報共有による施設利用効率化
- ・ 社会教育関係団体に登録して活動するメリットや学校体育施設の利用方法の周知
- ・ 時間や場所にとらわれないオンライン教室等の開催検討
- ・ 市、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の定期的な情報交換や情報共有

【社会体育施設利用状況】



(2) 体育施設の適正な管理

◇現状と課題

近年、スポーツ施設の老朽化や管理不足によって、プール排水設備や体育館のフローリングの劣化に起因した重大事故について事例報告がありました。スポーツ施設は、常に健全な状態を保ち、安全な施設を提供しなければなりません。特殊設備を使用することが多く、故障の際には多額の費用負担が発生するため、今後、同様のサービスを持続的に提供することが困難となる見通しです。また、世界的な原料や資材、エネルギー価格の急激な高騰も相まって、施設運営に大きな影響を及ぼしており、今後、市で策定した「市公共施設最適化計画」に基づきながら、長期的な視点で市体育施設全体の在り方を検討していく必要があります。

◇到達目標

- ・ 安全性や利便性を維持した施設の提供
- ・ 市公共施設最適化計画に基づいた効果的で効率的な管理運営
- ・ エネルギー効率の改善
- ・ 高齢者や障害のある方でも利用しやすい施設環境の整備

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 人口動態や市民ニーズの変化を踏まえた体育施設の規模適正化や統廃合の検討
- ・ 安全に利用できる環境の整備、施設の計画的な修繕や更新
- ・ 体育施設個別施設計画（長寿命化計画）の策定
- ・ 体育施設照明のLED化を促進するなど、ランニングコストの削減
- ・ 高齢者や障害のある方に対応した施設のバリアフリー化の促進
- ・ 和式トイレを洋式化し、利便性の向上と衛生環境の改善
- ・ 新しいスポーツ（アーバンスポーツ※5やeスポーツ※6など）に対応する環境整備の検討

【学校体育施設利用状況】



〔資料：社会教育課調べ〕

※5 「アーバンスポーツ」

→ スケートボード、BMX、パルクールなど都市型スポーツをいう。

「eスポーツ」

→※6 「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称のこと。

(3) 共生社会の実現に向けた取り組み

◇現状と課題

東京2020大会は、多くの国民に勇気と感動を与え、改めてスポーツの価値を再認識する機会となりました。大会のレガシーのひとつとして、オリンピックを契機とした共生社会の実現が挙げられており、世界的に理解・関心が高まっています。性別や年齢、障害の有無等に関わらず、多様な主体がスポーツに参画できる環境が求められており、女性のスポーツ実施率向上や、障害者スポーツの推進体制充実などが今後取り組むべき課題として注目されています。

東京2020大会開催にあたり、市においては、国境を越えた事前キャンプ誘致を推進しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、最終的な実現には至りませんでした。得られたノウハウを今後のスポーツ推進に生かすことが重要です。

このような状況の中、特に障害者スポーツへの支援体制が非常に脆弱であることから、施設設備面の環境整備はもちろんのこと、障害者スポーツに触れる機会を創出する必要があります。

◇到達目標

- ・ 東京2020大会を契機とし、スポーツに参加する市民の増加
- ・ 共生社会への理解・関心の高まりを生かし、継続したスポーツ交流の推進
- ・ 障害者スポーツの活動機会の提供と環境整備
- ・ 女性のスポーツ実施率向上
- ・ スポーツボランティア団体等の育成

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 共生社会を意識したイベントやスポーツ大会の開催
- ・ 国外チームとの交流イベントなど、国の枠を越えたスポーツ交流
- ・ 美容と健康を目的としたフィットネススポーツ事業の開催
- ・ 各種スポーツ大会運営におけるボランティアの実践

【第8回ハーフマラソン大会ボランティア活動状況】

協力団体	協力人数	活動内容
築館高等学校	125	計測タグ回収、完走証配布、給水所、会場、選手招集、参加賞配布、交通整理、環境衛生
若柳地区内行政区	60	
栗原市スポーツ協会	20	
栗原市連合婦人会	10	
栗原市スポーツ推進委員	22	
	237	

【第52回全日本中学生ホッケー選手権大会ボランティア活動状況】

協力団体	協力人数	活動内容
市内中学生・高校生	54	記録回収、得点板、チーム関係者誘導、弁当配布、会場消毒、散水、駐車場整理、ボールパトロール
宮城クラブ（地域ホッケー競技団体）	20	
栗原市スポーツ推進委員	19	
中学校ホッケー部親の会	24	
	117	

(4) スポーツを通じた地域活性化

◇現状と課題

国では、東京2020大会後のスポーツ機運の高まりを一過性のものとしなため、スポーツを起点とした観光など、地域活性化への取り組みを一層推進していくこととしています。

市においても、栗原ハーフマラソン大会をはじめとした市主催事業のほか、市スポーツ協会や各種スポーツ団体により、様々な大会・スポーツイベントが開催されており、市内外から多くの参加者が訪れています。

一方、国内各地に趣向を凝らした事業が存在することで、大会・イベントは人々から選ばれる時代となっており、内容によっては参加者数が大きく変動することもあります。多くの人に選ばれる魅力ある事業を実施するため、創意工夫が求められます。また、恵まれた自然環境と充実した施設、助成制度などを広くPRし、人の流れを取り込む事業を推進する必要があります。

◇到達目標

- ・ 栗原ハーフマラソン大会をはじめとする各種大会の充実
- ・ プロスポーツ選手等による教室や交流の場の提供
- ・ トップアスリートが参加する合宿誘致（みる機会の提供）
- ・ オンラインによるトップアスリートとの交流
- ・ 市外スポーツ団体や学校の合宿地誘致
- ・ 武道を通じたイベントの開催
- ・ スポーツイベントや施設運営における環境保全に配慮した取り組み
- ・ 市民のニーズに応じた新たなスポーツ機会の創出

◇具体的な取り組みと施策展開

- ・ 参加者からのアンケート等により、運営を分析し改善を図る
- ・ SNSを活用した情報の発信
- ・ 大学や企業へのPR活動
- ・ 合宿補助制度・施設の充実を含めた当市のPR活動推進
- ・ 地域企業との連携によるネーミングライツ事業
- ・ 武道を通じたイベント等の開催検討
- ・ 自然との共存を楽しみ、環境保全を取り入れたスポーツ事業の実施
- ・ DXを活用したスポーツイベント等の実施検討

【トップアスリート等と交流事業開催状況】

(平成30年度～令和4年度)

アスリート	種目	主催	概要
高橋 千恵美 (シドニー五輪10000m出場)	陸上	・栗原市・栗原市教育委員会 ・栗原市陸上競技協会	栗原ハーフマラソン大会ゲストランナー
ウルフドックス名古屋 (旧豊田合成トレフェルサ)	バレーボール	・ウルフドックス名古屋 ・栗原市教育委員会	バレーボール教室 (小学生・中学生)
山崎 武司 (元プロ野球選手)	野球	・市・栗原市教育委員会・山崎武司クラブ	山崎武司杯少年野球選抜大会
ホッケー男子3か国親善試合	ホッケー	・公益社団法人 日本ホッケー協会	2020東京オリンピックに出場する日本代表チーム、カナダ代表チーム、ドイツU23代表チームの親善試合
栗原市ホッケー競技国際交流事業	ホッケー	・栗原市・栗原市教育委員会	ブッシュレンジャーズ (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州) 中学生・高校生世代と交流試合
青島 大輔 (TOKYO2020メディカルサービス (バスケット競技) 釜山、アテネ、トリノ、北京オリンピックプロジェクトメンバー)	バスケット	・栗原市体育協会 ・栗原市スポーツ少年団	演題【そうだったのか！スポーツ指導者に知って欲しい身体の整え方】
古賀 稔彦 (バルセロナオリンピック優勝)	柔道	・栗原市スポーツ協会	演題【挑戦することの大切さ】

第III章 アンケート調査

第1節 市民の運動・スポーツに関するアンケート調査概要

第2節 アンケート調査結果及び分析

第Ⅲ章 アンケート調査

第1節 市民の運動・スポーツに関するアンケート調査概要

(1) 調査目的

市では、「第2期栗原市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツに関する様々な取組みを実施しているが、この計画は平成30年度から5年間の計画であり、令和5年度以降の「次期スポーツ推進計画」策定に向け、市民の皆様の運動やスポーツに関する取組みの現状や御意見を把握し、今後の施策に反映するため、アンケート調査を実施するもの

(2) 調査対象

- ①母集団 : 令和4年1月5日現在、栗原市に在住する満10歳以上の男女
- ②標本数 : 2,000人
- ③地点数 : 栗原市内10地点(旧町村単位)
- ④抽出方法: 住民基本台帳による無作為抽出法

(3) 調査期間

令和4年1月14日(金)から令和4年1月28日(金)まで

(4) 調査方法

- 回答方法は、回答者が①②どちらかを選択して回答する
- ①アンケート用紙直接記入後、返信封筒にて回答する
 - ②専用の Web ページ上で回答する

(5) 調査内容

- ①個人的属性: 性別、年代、居住地域、職業
- ②日常生活 : 余暇時間、実施の有無
- ③関連活動 : 「する・みる」の趣向
- ④実施状況 : 時間、理由、種目、場所
- ⑤体育施設 : 施設の満足度、不満の理由、希望する施設
- ⑥環境体制 : コロナ禍の影響、教室等への参加、参加費の徴収、
情報提供、部活動改革
- ⑦今後の課題: 重点項目、ご意見

(6) その他

アンケート調査は無記名とする。またアンケート結果は統計的に処理し、目的以外に使用しない。

(6) 回答状況

有効回答数 (回答率) 830件 (41.5%)

今回の調査にあたり、性別や年齢の回答がない調査票があったものの、調査内容の記載が確認できたものについて、本調査は有効であると認め、標本として採用した。

回答者の属性

	性別	計	回答率	内 訳										
				築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	回答無
依頼数	男	1,000		201	177	155	54	105	64	32	96	102	14	
	女	1,000		200	176	156	54	105	64	33	95	103	14	
	計	2,000		401	353	311	108	210	128	65	191	205	28	
回答数	男	379	37.9%	74	67	51	22	43	24	11	41	40	6	
	女	443	44.3%	97	70	62	19	51	33	13	42	49	7	
	回答無	8			1	1	1				1	1		3
	計	830		171	138	114	42	94	57	24	84	90	13	3
回答率		41.5%		42.6%	39.1%	36.7%	38.9%	44.8%	44.5%	36.9%	44.0%	43.9%	46.4%	
白紙		4												4

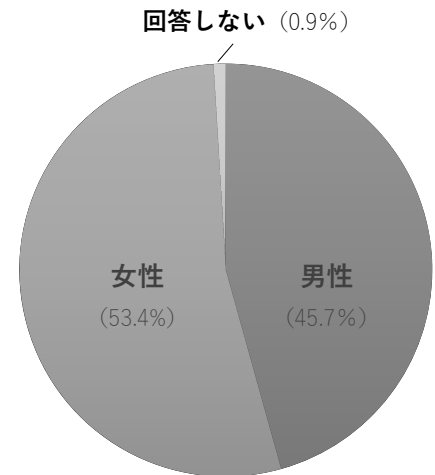
	年齢層	依頼数	回答数	回答率	回答数詳細											
					築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	回答無	
年齢層別	10歳代	286	118	41.3%	22	19	14	5	11	10	5	12	16	3	1	
	20歳代	286	78	27.3%	20	15	12	3	6	4	2	4	9	1	2	
	30歳代	286	93	32.5%	18	20	10	6	13	7	3	6	8	1	1	
	40歳代	286	119	41.6%	21	14	17	6	15	7	5	16	14	3	1	
	50歳代	286	116	40.6%	28	19	17	6	14	6	0	12	12	2		
	60歳代	285	142	49.8%	27	23	21	5	18	13	4	18	12	1		
	70歳代以上	285	160	56.1%	35	27	22	10	16	10	5	15	18	2		
	年齢無		4						1						3	
	計	2,000	830	41.5%	171	138	114	42	94	57	24	84	90	13	3	
内訳	男	10歳代	143	52	36.4%	12	7	5	2	7	5	2	4	7	1	
		20歳代	143	34	23.8%	6	9	6	2	3	1	1	2	3	1	
		30歳代	143	42	29.4%	10	10	2	4	6	4	2	3	0	1	
		40歳代	143	54	37.8%	9	9	7	2	8	2	3	5	8	1	
		50歳代	143	54	37.8%	10	8	9	5	6	2	0	7	5	2	
		60歳代	142	59	41.5%	12	8	10	1	5	6	1	11	5	0	
		70歳代以上	143	83	58.0%	15	16	12	6	7	4	2	9	12	0	
		年齢無		1						1						
		計	1,000	379	37.9%	74	67	51	22	43	24	11	41	40	6	
	女	10歳代	143	65	45.5%	10	12	9	3	4	5	3	8	9	2	
		20歳代	143	42	29.4%	14	6	6	1	3	3	1	2	6	0	
		30歳代	143	50	35.0%	8	10	8	2	7	3	1	3	8	0	
		40歳代	143	64	44.8%	12	5	10	4	7	5	2	11	6	2	
		50歳代	143	62	43.4%	18	11	8	1	8	4	0	5	7	0	
		60歳代	143	83	58.0%	15	15	11	4	13	7	3	7	7	1	
		70歳代以上	142	77	54.2%	20	11	10	4	9	6	3	6	6	2	
		計	1,000	443	44.3%	97	70	62	19	51	33	13	42	49	7	
		性別回答無	10歳代		1			1								
20歳代			2								1	1				
30歳代			1			1										
40歳代			2			1	1									
年齢無			3											3		
計			8			1	1	1				1	1	3		

第2節 アンケート調査結果及び分析

(1) 調査結果

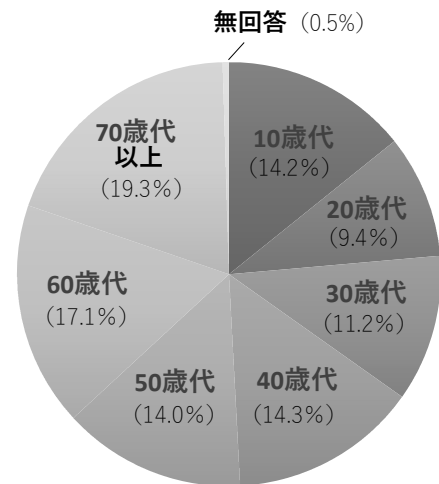
問1 あなたの性別は？

男性	379人	45.7%	(46.9%)
女性	443人	53.4%	(53.1%)
回答しない	8人	0.9%	
計	830人		(前回)



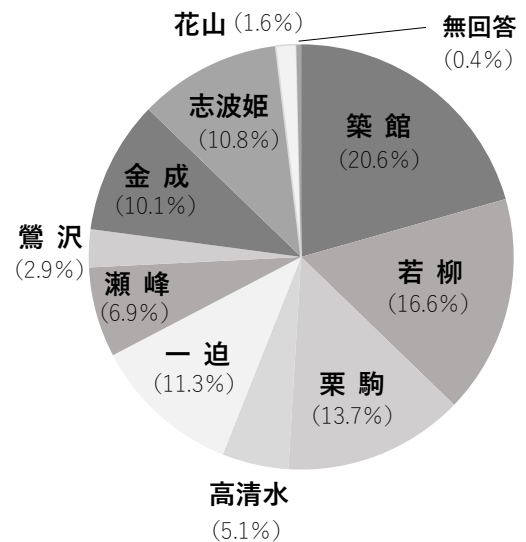
問2 あなたの年齢は？

10歳代	118人	14.2%	(11.4%)
20歳代	78人	9.4%	(7.9%)
30歳代	93人	11.2%	(10.7%)
40歳代	119人	14.3%	(12.1%)
50歳代	116人	14.0%	(17.5%)
60歳代	142人	17.1%	(22.3%)
70歳代以上	160人	19.3%	(17.7%)
無回答	4人	0.5%	(0.4%)
計	830人		(前回)

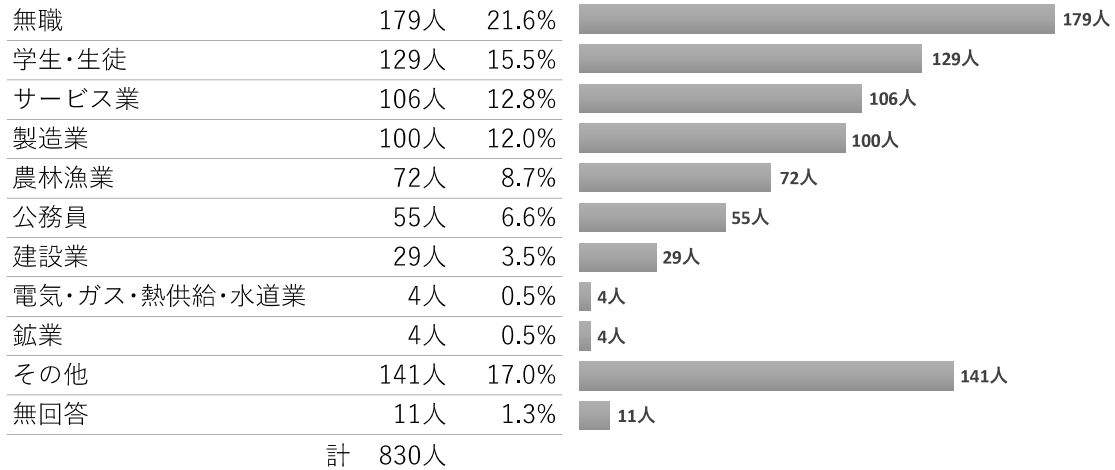


問3 あなたのお住まいの地区は？

築館	171人	20.6%	(17.6%)
若柳	138人	16.6%	(16.0%)
栗駒	114人	13.7%	(18.6%)
高清水	42人	5.1%	(5.8%)
一迫	94人	11.3%	(10.2%)
瀬峰	57人	6.9%	(5.7%)
鶯沢	24人	2.9%	(3.0%)
金成	84人	10.1%	(10.8%)
志波姫	90人	10.8%	(9.6%)
花山	13人	1.6%	(2.4%)
無回答	3人	0.4%	(0.1%)
計	830人		(前回)

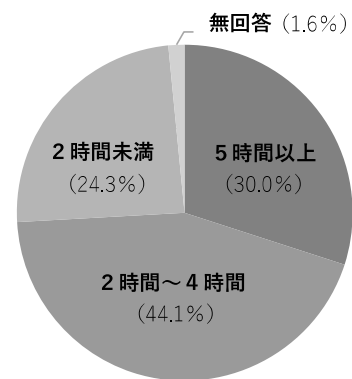


問4 あなたの職業は？



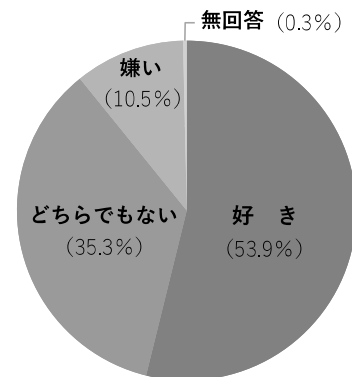
問5 余暇時間は1日どれ位ですか？

5時間以上	249人	30.0%	(21.2%)
2時間～4時間	366人	44.1%	(43.2%)
2時間未満	202人	24.3%	(34.4%)
無回答	13人	1.6%	(1.2%)
計	830人		(前回)



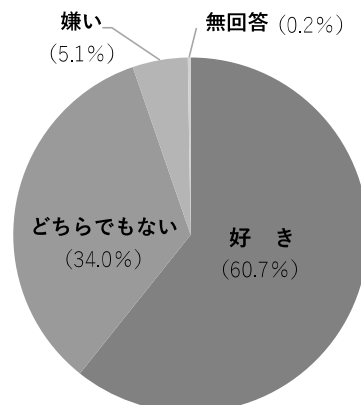
問6 運動やスポーツをすることが好きですか？

好き	447人	53.9%	(57.9%)
どちらでもない	293人	35.3%	(32.5%)
嫌い	87人	10.5%	(6.6%)
無回答	3人	0.3%	(3.1%)
計	830人		(前回)



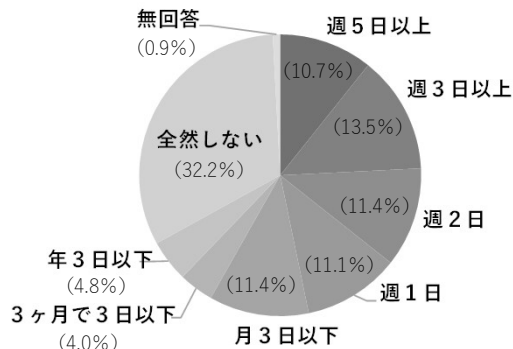
問7 運動やスポーツを観ることが好きですか？

好き	504人	60.7%	(62.2%)
どちらでもない	282人	34.0%	(24.9%)
嫌い	42人	5.1%	(3.4%)
無回答	2人	0.2%	(9.5%)
計	830人		(前回)



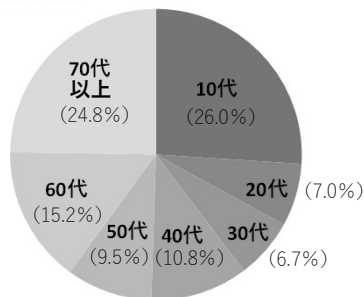
問8-1 運動やスポーツをどれくらいしていますか？ ※「全然しない」と回答した人は問9へ進む

週5日以上	89人	10.7%
週3日以上	112人	13.5%
週2日	95人	11.4%
週1日	92人	11.1%
月に1日～3日	95人	11.4%
3ヶ月に1日～3日	33人	4.0%
年に1日～3日	40人	4.8%
※ 全然しない	267人	32.2%
無回答	7人	0.9%
計	830人	

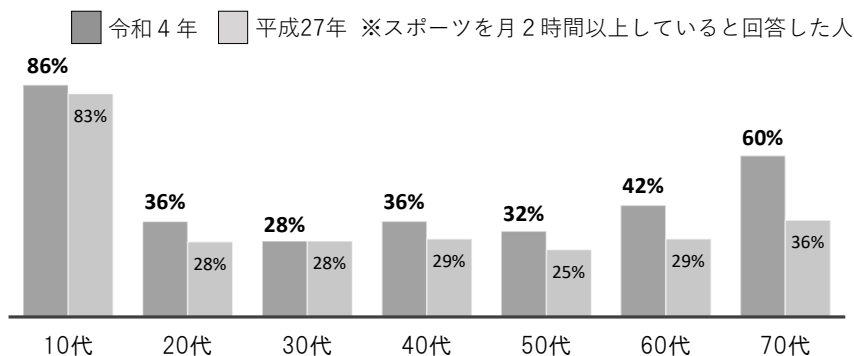


○運動やスポーツを「週1日」以上していると回答した人の年代別割合

	388人	46.7%
(内訳：年齢層)		
10歳代	101人	26.0%
20歳代	27人	7.0%
30歳代	26人	6.7%
40歳代	42人	10.8%
50歳代	37人	9.5%
60歳代	59人	15.2%
70歳代以上	96人	24.8%

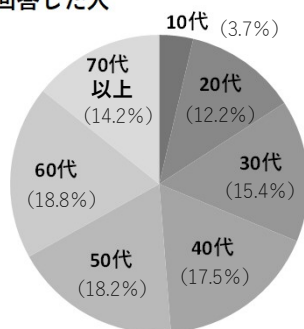


○運動やスポーツを「週1日」以上していると回答した人の年代別比較

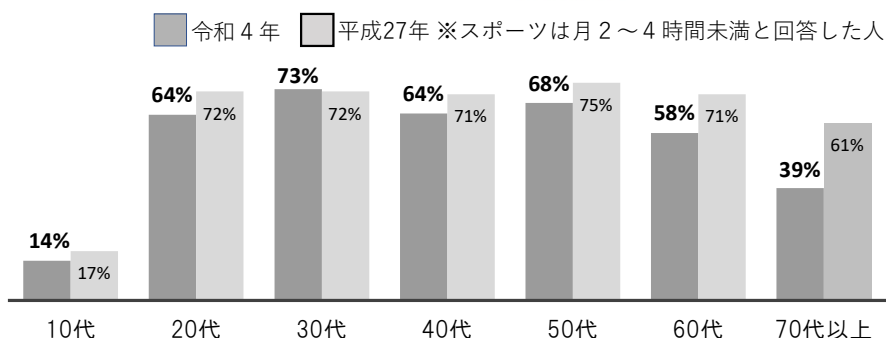


○運動やスポーツは「週1日」未満、または「全然しない」と回答した人の年代別割合

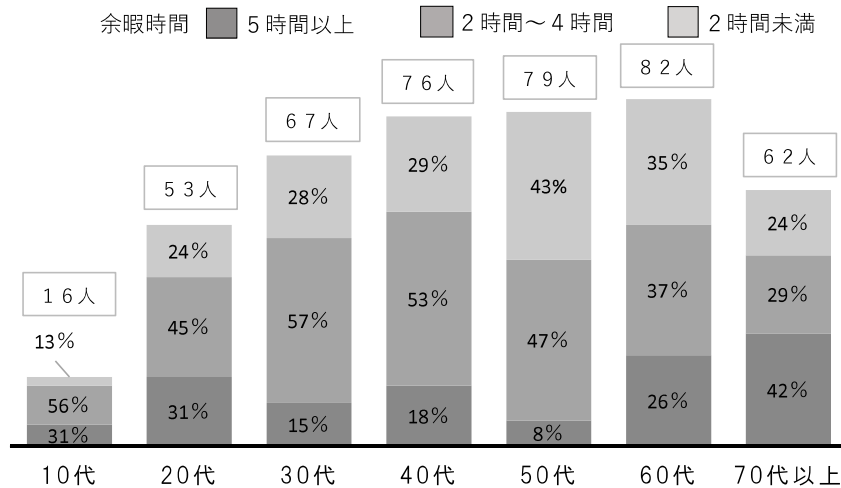
	435人	52.4%
(内訳：年齢層)		
10歳代	16人	3.7%
20歳代	53人	12.2%
30歳代	67人	15.4%
40歳代	76人	17.5%
50歳代	79人	18.2%
60歳代	82人	18.8%
70歳代以上	62人	14.2%



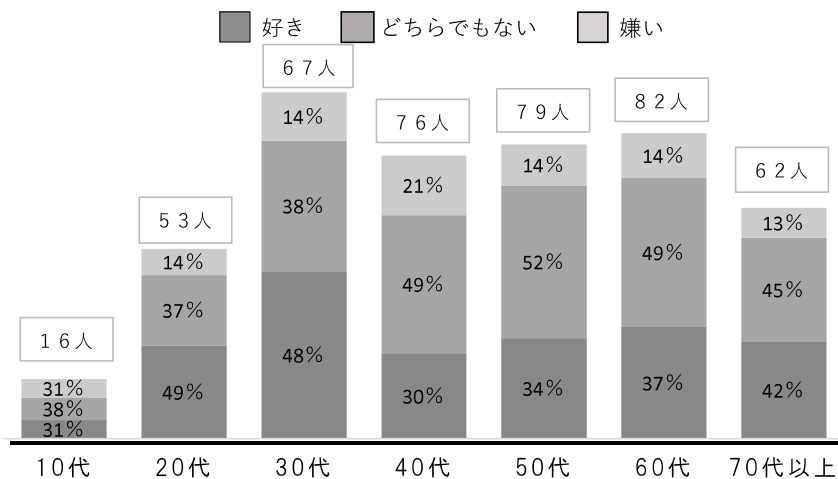
○運動やスポーツを「週1日」未満と回答した人の年代別比較



○問8-1で、運動やスポーツは「週1日」未満、または「全然しない」と回答した人で各年代の余暇時間の割合（無回答あり）



○問8-1で、運動やスポーツは「週1日」未満、または「全然しない」と回答した人で各年代の運動やスポーツをすることが「好き」と回答した人の割合



問8-2 運動やスポーツをしている理由は？（2つまで選択可）

健康維持のため	282人	31.6%	282人
運動不足を感じて	194人	21.7%	194人
肥満解消やダイエット	86人	9.6%	86人
友人との交流のため	83人	9.3%	83人
ストレス解消のため	72人	8.1%	72人
学校部活動・クラブ活動	71人	8.0%	71人
自己記録や能力を向上	34人	3.8%	34人
家族のふれあいのため	29人	3.3%	29人
美容のため	12人	1.3%	12人
その他	29人	3.3%	29人
計	892人		

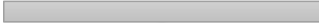





















「健康維持のため」を選択した年齢層の割合

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
4%	7%	7%	14%	15%	20%	33%










「運動不足を感じて」を選択した年齢層の割合

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
4%	9%	14%	15%	13%	19%	26%

問8-3 どんな運動やスポーツをしていますか？（2つまで選択可）

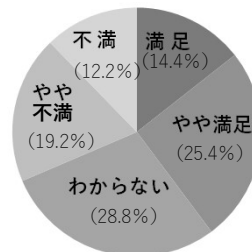
ウォーキング	240人	30.7%		240人
筋力トレーニング	102人	13.0%		102人
体操	94人	12.0%		94人
ジョギング	46人	5.9%		46人
パークゴルフ	34人	4.4%		34人
野球	30人	3.8%		30人
サッカー	22人	2.8%		22人
ダンス	20人	2.6%		20人
テニス	17人	2.2%		17人
家庭バレーボール	16人	2.1%		16人
ヨガ	15人	1.9%		15人
水泳	14人	1.8%		14人
卓球	11人	1.4%		11人
バレーボール	8人	1.0%		8人
ゴルフ	3人	0.4%		3人
ゲートボール	1人	0.1%		1人
その他（以下、主な種目）	109人	13.9%		109人
バスケットボール	(13人)	(1.7%)		(13人)
バドミントン	(12人)	(1.5%)		(12人)
ストレッチ、バランス関連	(8人)	(1.0%)		(8人)
グラウンドゴルフ	(7人)	(0.9%)		(7人)
登山	(6人)	(0.8%)		(6人)
計	782人			

問8-4 主にどこで運動やスポーツをしていますか？（2つまで選択可）

自宅等	363人	52.7%		363人
学校体育施設	100人	14.5%		100人
市内の公共スポーツ施設	85人	12.3%		85人
市外の施設	60人	8.7%		60人
公民館や集会所	42人	6.1%		42人
市内の民間施設	20人	2.9%		20人
その他（以下、主な種目）	19人	2.8%		19人
職場	(6人)	(0.9%)		(6人)
山	(2人)	(0.3%)		(2人)
計	689票			

問8-5 運動やスポーツをする上で、施設の数や設備等について満足していますか？

満足	81人	14.4%
やや満足	143人	25.4%
わからない	162人	28.8%
やや不満	108人	19.2%
不満	69人	12.2%
計	563人	











「不満」、「やや不満」を選択した年齢層の割合

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
15%	10%	12%	18%	19%	13%	13%




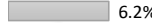
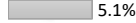
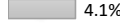













「不満」、「やや不満」を選択した人の地区割合

築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山
14%	8%	6%	13%	10%	14%	9%	11%	11%	4%










問8-6 問8-5で「やや不満」、「不満」を選択した方に伺います。
不満の主な理由は？（2つまで選択可）

スポーツ施設の不足	124人	46.8%	(38.3%)		124人
施設の設備	57人	21.5%	(10.6%)		57人
利用時間帯	28人	10.6%	(24.7%)		28人
予約方法・利用手続き	22人	8.3%	(10.6%)		22人
利用料金	14人	5.3%	(11.0%)		14人
その他（以下、主な理由）	20人	7.5%	(3.1%)		20人
近くに施設がない	(6人)	(2.3%)			(6人)
施設や設備の老朽化	(3人)	(1.1%)			(3人)
計	265人			(前回)	



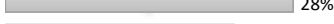





「スポーツ施設の不足」、「施設の設備」を選択した人が行っている運動やスポーツの割合

ウォーキング	30.8%		30.8%
筋力トレーニング	15.4%		15.4%
ジョギング	6.7%		6.7%
体操	6.2%		6.2%
パークゴルフ	5.1%		5.1%
野球	4.1%		4.1%
ダンス	4.1%		4.1%
サッカー	2.6%		2.6%
テニス	2.1%		2.1%
家庭バレーボール	1.5%		1.5%
水泳	1.5%		1.5%
卓球	1.0%		1.0%
ヨガ	1.0%		1.0%
その他（以下、主な理由）	17.9%		17.9%
バスケットボール	(4.1%)		(4.1%)
登山	(2.1%)		(2.1%)
バドミントン	(1.5%)		(1.5%)
ストレッチ、バランス関連	(1.5%)		(1.5%)
グラウンドゴルフ	(1.0%)		(1.0%)

問9 問8-1で「全然しない」を選択した方にお伺いします。
主にどのような条件が整えば運動やスポーツをしてみたいと考えますか？（2つまで選択可）

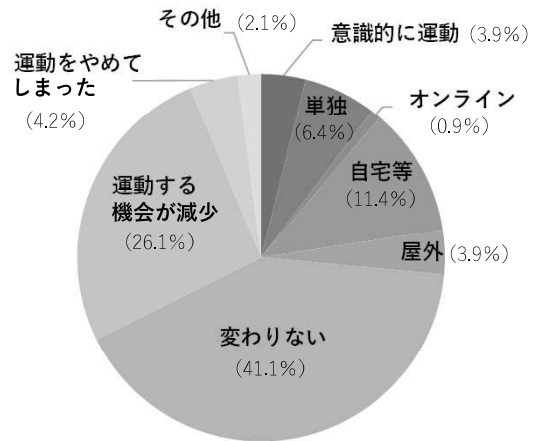
仕事や家事に余裕があれば	156人	37.4%		156人
近くに場所や施設があれば	78人	18.7%		78人
お金に余裕があれば	66人	15.8%		66人
指導者や仲間があれば	50人	12.0%		50人
情報や機会があれば	38人	9.1%		38人
その他（以下、主な理由）	29人	7.0%		29人
高齢や体の不調で運動ができない	(12人)	(2.9%)		(12人)
運動やスポーツ嫌い、興味がない	(8人)	(1.9%)		(8人)
コロナが終息したら	(1人)	(0.2%)		(1人)
計	417人			

○「全然しない」を選択した人で「近くに場所や施設があれば」と回答した人の地区割合

築館（全然しない）	51人中	13人	25%		25%
若柳	48人中	15人	31%		31%
栗駒	43人中	12人	28%		28%
高清水	9人中	2人	22%		22%
一迫	43人中	16人	37%		37%
瀬峰	16人中	4人	25%		25%
鶯沢	7人中	0人			
金成	23人中	9人	39%		39%
志波姫	24人中	7人	29%		29%
花山	2人中	0人			
計	417人中	78人			

問10 新型コロナウイルス感染症の影響により、「コロナ禍」になる前と現在を比べて、運動やスポーツをする環境に変化はありましたか？（いくつ選択しても可）

意識的に運動するようになった	36人	3.9%
単独での運動が多くなった	59人	6.4%
オンラインの運動が多くなった	8人	0.9%
自宅等の運動が多くなった	105人	11.4%
屋外の運動が多くなった	36人	3.9%
変わらない	379人	41.1%
運動する機会が減少した	240人	26.1%
運動をやめてしまった	39人	4.2%
その他（以下、主な理由）	19人	2.1%
運動機会や楽しみが減った	(7人)	(0.8%)
自宅周辺のみとなった	(3人)	(0.3%)
計	921人	



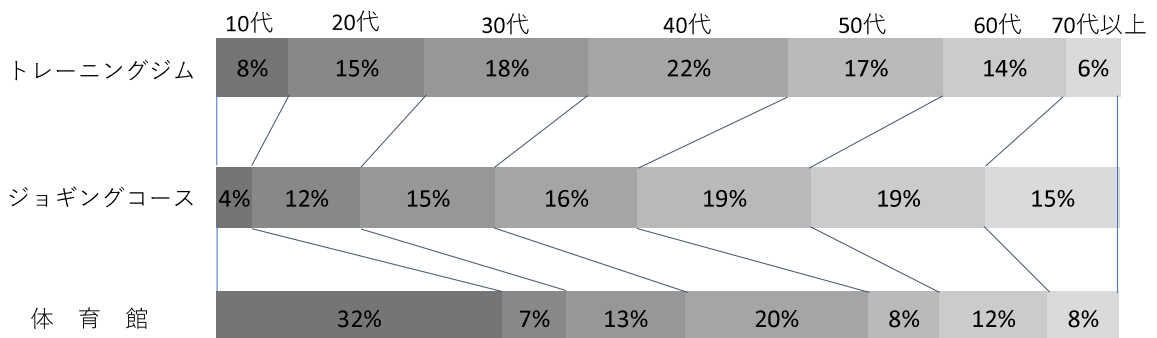
○コロナ禍以前と比べ「運動する機会が減少」、「運動をやめてしまった」人（30.3%）の年代別割合

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
割合	19%	11%	10%	13%	14%	15%	18%

問11-1 今後、市にある施設の中で特に充実してほしいスポーツ施設は？（2つまで選択可）

トレーニングジム	200人	22.4%	200人
ジョギングコース	114人	12.8%	114人
体育館	113人	12.6%	113人
パークゴルフ場	52人	5.8%	52人
プール	32人	3.6%	32人
多目的グラウンド	27人	3.0%	27人
武道館	12人	1.3%	12人
クロスカントリーコース（陸上用）	10人	1.1%	10人
ゲートボール場	7人	0.8%	7人
野球場	6人	0.7%	6人
テニスコート	5人	0.6%	5人
陸上競技場	3人	0.3%	3人
ホッケー場	2人	0.2%	2人
特になし	254人	28.4%	254人
その他（以下、主な施設）	57人	6.4%	57人
公園、市民の憩いの場	(11人)	(1.2%)	(11人)
スケートボード、ボルダリング施設	(5人)	(0.6%)	(5人)
サッカーグラウンド	(4人)	(0.4%)	(4人)
計	894人		

○今後、特に充実して欲しいスポーツ施設の年代別割合（問11-1上位から抜粋）



問11-2 問11-1の「特に充実してほしいスポーツ施設」の具体的な内容は？

回答	237人	28.6%
無回答	593人	71.4%
計	830人	

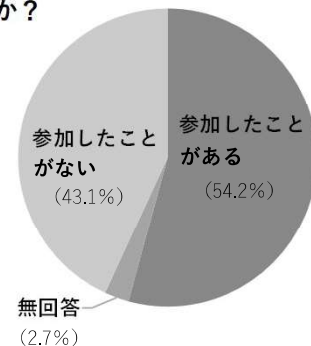
以下、主な回答内容（複数回答あり）

・ 多目的施設（いつでも誰でも気軽に利用できる施設、公園）	111人	11.8%	111人
・ トレーニングジム（増設、既存機具更新、スマホ予約、指導者設置）	43人	4.6%	43人
・ ジョギングコース（夜間利用、安全・安心な環境）	41人	4.4%	41人
・ 屋内プール（トレーニングジム併設、スイミング指導者の設置）	26人	2.8%	26人
・ サッカー・フットサル場（人工芝化、ナイター設備設置）	14人	1.5%	14人
・ テニスコート（増設、人工芝化、ナイター設備設置）	13人	1.4%	13人
・ バスケットボールコート（屋内外増設、コートライン整備）	12人	1.3%	12人
・ バドミントンコート（増設、コートライン整備、支柱等拡充）	8人	0.8%	8人
・ パークゴルフ場（増設、荒天時避難・炎天下休憩場所の設置）	7人	0.7%	7人
・ 野球場（増設、広い駐車場、既存備品更新、ナイター設備設置）	7人	0.7%	7人
・ スケートボード、ボルダリング、BMX施設	7人	0.7%	7人
・ エポカのプール及びトレーニングルームの再開	5人	0.5%	5人
計	294人		

問12-1 これまで市教育センターや自治会、コミュニティ推進協議会等の運動やスポーツ行事（地区運動会やレクリエーション等）に参加したことがありますか？

※「参加したことがある」を選択した方は問13-1へ、
「参加したことがない」を選択した方は問12-2へお進みください。

参加したことがある	450人	54.2%
参加したことがない	358人	43.1%
無回答	22人	2.7%
計	830人	

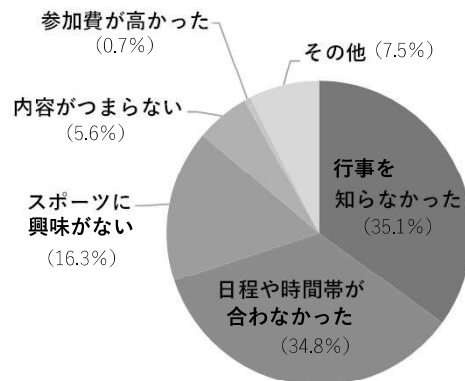


「参加したことがない」と回答した人の年齢層の割合

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
14%	14%	17%	16%	11%	17%	11%

問12-2 問12-1で「参加したことがない」を選択した方にお伺いいたします。
参加したことがない理由は？（2つまで選択可）

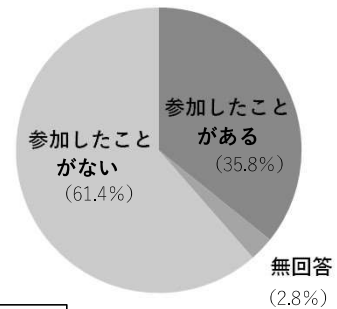
行事を知らなかった	155人	35.1%
日程や時間帯が合わなかった	154人	34.8%
スポーツに興味がないから	72人	16.3%
内容がつまらないから	25人	5.6%
参加費が高かったから	3人	0.7%
その他（以下、主な理由）	33人	7.5%
参加する仲間がない	(8人)	(1.8%)
体力や健康上の理由	(7人)	(1.6%)
周囲と関わりたくない	(6人)	(1.4%)
計	442人	



問13-1 これまでスポーツ団体（スポーツ協会・スポーツ少年団等）が開催するスポーツ教室などに参加したことがありますか？

※「参加したことがある」を選択した方は問14へ、
「参加したことがない」を選択した方は問13-2へお進みください。

参加したことがある	297人	35.8%
参加したことがない	510人	61.4%
無回答	23人	2.8%
計	830人	

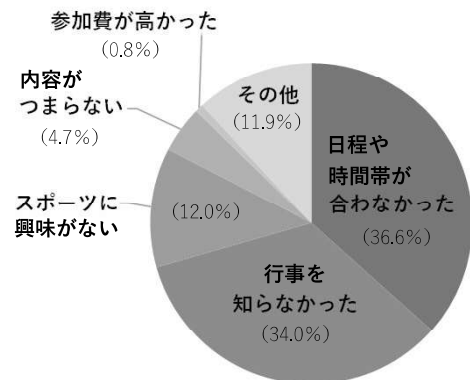


○「参加したことがない」と回答した人の年齢別割合

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
11%	10%	13%	16%	13%	18%	20%

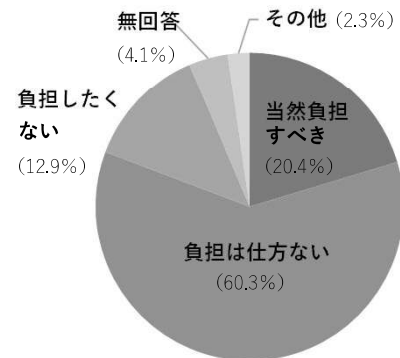
問13-2 問13-1で「参加したことがない」を選択した方にお伺いいたします。参加したことがない理由は？（2つまで選択可）

日程や時間帯が合わなかった	225人	36.6%
行事を知らなかった	209人	34.0%
スポーツに興味がないから	74人	12.0%
内容がつまらないから	29人	4.7%
参加費が高かったから	5人	0.8%
その他	73人	11.9%
（高齢、体力的な理由）	(13人)	(2.1%)
（個人活動を好む）	(5人)	(0.8%)
（参加意欲が湧かない）	(5人)	(0.8%)
計	390人	



問14 スポーツ教室や交流会などに参加費を負担することについて、どのように考えますか？

当然負担すべき	169人	20.4%
負担は仕方ない	501人	60.3%
負担したくない	107人	12.9%
無回答	34人	4.1%
その他	19人	2.3%
（参加費の内訳や金額設定に疑問）	(11人)	(1.3%)
（わからない）	(1人)	(0.1%)
計	830人	

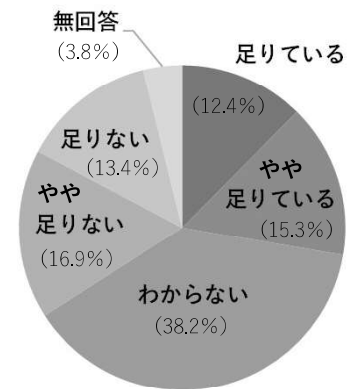


問15-1 運動機会やスポーツ教室の開催や募集といった情報を主に何から得ていますか？（2つまで選択可）

市広報誌・教育センターだより	411人	36.7%	411人
知人・友人	256人	22.8%	256人
家族	89人	7.9%	89人
雑誌・チラシ	73人	6.5%	73人
SNS	58人	5.2%	58人
新聞	38人	3.4%	38人
ホームページ	36人	3.2%	36人
テレビ	29人	2.6%	29人
ラジオ	5人	0.4%	5人
わからない	109人	9.7%	109人
その他	18人	1.6%	18人
計	1122人		

問15-2 現在、運動機会やスポーツ教室の開催や募集といった情報の提供について、足りていると感じていますか？

足りている	103人	12.4%
やや足りている	127人	15.3%
わからない	317人	38.2%
やや足りない	140人	16.9%
足りない	111人	13.4%
無回答	32人	3.8%
計	830人	



○「足りない」、「やや足りない」と感じている人の主な情報取得手段の割合

市広報誌・教育センターだより	36.4%	36.4%
知人・友人	26.7%	26.7%
家族	6.9%	6.9%
雑誌・チラシ	6.1%	6.1%
S N S	5.3%	5.3%
新聞	3.3%	3.3%
ホームページ	3.9%	3.9%
テレビ	1.4%	1.4%
ラジオ	0.8%	0.8%
わからない	6.4%	6.4%
その他	2.8%	2.8%

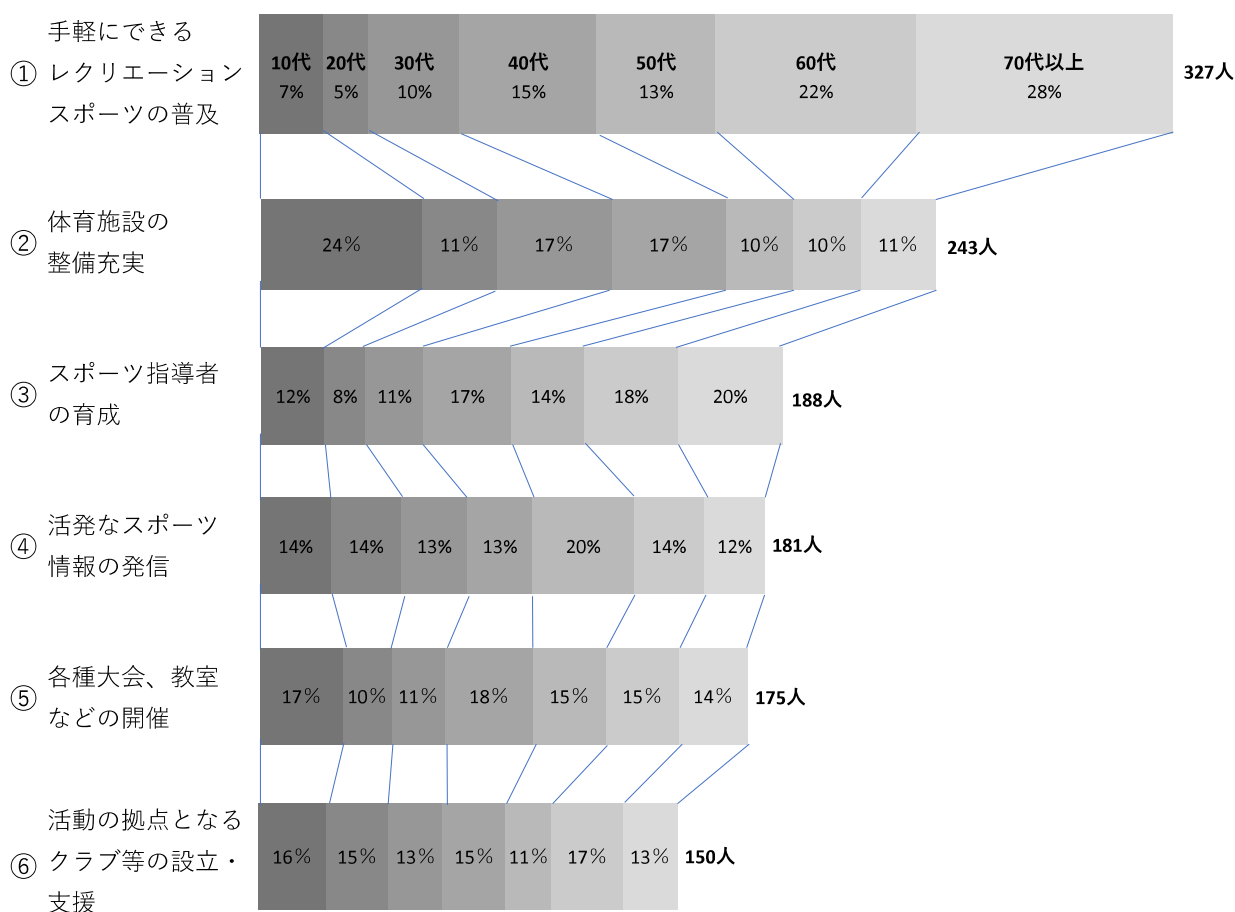
問16 20歳以上の方にお伺いいたします。公立学校を対象とした部活動改革について、どのような課題があると考えますか？（2つまで選択可）

指導者にふさわしい地域人材確保	435人	39.6%	435人
事故発生時の対応と責任の所在	254人	23.1%	254人
活動場所の確保	165人	15.0%	165人
保護者等の費用負担	112人	10.2%	112人
競技力や技術力の向上	94人	8.6%	94人
その他（以下、主な回答）	39人	3.5%	39人
学校顧問と地域指導者、保護者の連携	(10人)	0.9%	(10人)
地域指導者の資質向上、賃金等処遇	(9人)	0.8%	(9人)
部活動の週末休止、縮小の検討	(5人)	0.5%	(5人)
計	1,099人		

問17 運動やスポーツの推進を図るうえで、今後どのような点に力を入れるべきと考えますか？
(2つまで選択可)

① 手軽にできるレクリエーションスポーツの普及	327人	25.2%	327人
② 体育施設の整備充実	243人	18.7%	243人
③ スポーツ指導者の育成	188人	14.5%	188人
④ 活発なスポーツ情報の発信	181人	14.0%	181人
⑤ 各種大会、教室などの開催	175人	13.5%	175人
⑥ 活動の拠点となるクラブ等の設立・支援	150人	11.6%	150人
⑦ その他（以下、主な回答）	32人	2.5%	32人
幼少期向け、高齢者向け施策の充実	(8人)	(0.6%)	(8人)
オンライン教室、動画配信	(2人)	(0.2%)	(2人)
若年層の定住促進に繋がるもの	(2人)	(0.2%)	(2人)
計 1,296人			

○回答ごとの年代別割合



市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	無理せず気軽楽しめる運動やスポーツの普及展開を希望します
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	地域や子どもの人数によって、近くで習う、選べるスポーツ（スポ少や部活）が限られているので、興味があるものに簡単に参加できません。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	このスポーツをしたいやりたいと思っている方はいっぱいおります。ただやってみようかと思って参加をすると、周りの人たちはあまりにも技術が上で、入るスキがないということが多々あり、あきらめてしまうことが何度ありましたので、私みたいなレベルが低い人でも参加ができるように考えていただきたいです。難しいですね。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	コロナ禍で仲間と交流しながらスポーツができなくなり、寂しい思いと、健康維持の大切を感じます。SNSではヨガや筋トレなど、毎日情報発信している方もいて、家で楽しむことができ、時代の流れを感じます。平日夜間や土日など、気軽に参加できる集まり（サークル）の情報などあればうれしいです。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	年齢別にスポーツに取り組める仕組みを作ってもらいたい
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	現在はコロナの為に1人でもウォーキングを行っていますが、スポーツを通じて友人を作りたい。交流できたら良いと考えております。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	誰でも気軽に参加できるようなところであってほしい。新しい仲間づくりの場所であってほしい。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	学生や若年層は専門的指導を主とし、中高年層は無理せず気楽に誰でもできるコミュニケーションのある運動スポーツであるといいです。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	スポーツなどするにも町に行かないと参加することが出来ない。もっと身近にある集会所など利用した気軽なスポーツなどあればよいのではないかと思う。車を運転する人などは良いでしょうが、ない人は参加しづらいと思う。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	色々な環境の人が気軽に利用でき、運動不足が解消できるようになればいい。運動も大切ですが、食育と並行推進することが重要で、市民の健康寿命を延ばすように、栗原市に住んでいて良かったと思えるような環境を望みます。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	市内10地区それぞれに、あっさり運動が行える施設があれば良い。種目によって、はるばる遠くの会場まで出向くのは困難です。また、年に1度、地区民運動会のような盛大な体育大会があれば充分。いかがでしょうか？
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	手軽に利用できる施設と、相談しやすい指導者の育成を希望
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	運動やスポーツを始めるにあたり、経験者、初心者をも一緒になって活動できることで長続きできる秘訣ではないかと思えます。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	感染対策をしながらの大会実施はとても大変だと思いますが、一生に一度の大会を親に見せたいという気持ちがあるのでそれを踏まえての御検討をいただきたいです。また、各自自治体で老若男女関係なく楽しめるようなスポーツを実施することで地域のコミュニケーションが深まると思えます。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	子供のいない世帯でママ友などの繋がりが少ないためなのか、なかなか市内のスポーツサークル活動の情報が入ってこないし、まったくの初めての者が気軽に参加して良いものなのかまったく不安なためいつも1人もしくは夫とスマホアプリのゲームをしながらお散歩しています。まずは、市内のスポーツ活動がどのようなものがあるのかから知りたいです。そのような会報が定期的にあるのならぜひ活用したいなと思えます。よろしく願います。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	場所や環境はある程度整っているし、自主事業としてもさまざまな教室が開催されていると思いますが、子供と一緒に参加できる教室や、子供が水泳教室やスポーツをしている間の待ち時間に合わせて保護者が同一施設内で他の教室へ参加できるイベントがない。分と時間をとって教室へ通うより、空き時間に参加できるものがあるとありがたいです。
1節 生涯スポーツの推進	1.誰でも気軽に参加	体を動かすことやスポーツは好きです。新しい場所や人は苦手です。仲の良い友達に誘われたら参加するかもしれません。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	昔のように、外で遊ぶ子どもたちが少なくなってきたので、子どもたちが活発に運動できる場所、仲間を増やせる競技を推進して欲しいです。
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	子どもに習わせることができるスポーツサークルが増えてほしい。（柔道等）
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	小さい子の遊べる場所が少ないように思う。住んでいる家々の近くに公園があり、ボール投げ、なわとび、ボール入れ等安全な遊びができる。週1日の1時間は花植え、水やりを行う。又、雑草をとって綺麗にする。隣近所とのふれあいの場になる。屋外で元気に遊ぶ。
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	高齢化社会の中での児童に向けたスポーツの推進を図ってほしい
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	がんばっている子供たちへの支援等を充実してほしい
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	小学生時代、スポーツにあまり興味がなかったこともあるとは思いますが、市内のどこにどんなスポ少があるのかも分かりませんでした。スポ少に入っている子は皆兄弟がいる人ばかりで、市内でどんなスポ少があるのかも分からず。やりたくても言えない子も少なからずいるのかなと思いました。各スポ少へのインタビューや地域広報誌等での紹介でも、子どものスポーツ推進になるのではと思いました。インターネットが発達し運動をする機会が少なくなっているからこそ、スポーツができるという強みもあると思いました。
1節 生涯スポーツの推進	2.幼児・子ども	初心者（未経験者）から始められるクラブチーム等が必要と考えます。多くのクラブチームが週末に施設を利用している印象を受けますが、ライフスタイルの多様化から平日に体育館（初心者）を対象に積極的にアピールしてもスポーツ人口増加、ひいては市としての肥満率の低下に貢献し、健康促進効果と共に医療費低減が狙えると考えます。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢者ができるレクリエーション的なものを地域で普及させてほしい
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	大変ご苦勞様です。若い人はいいけど、年寄り足は足を上げただけでいいから、家の中ですがって1, 2, 3としています。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢になればなるほど、運動を継続すること、そして健康な体を維持することが大切であると考えようになった。ひとりでは出来ないが、グループだと実践できると思います。そんな場所と、良き指導者にめぐり逢えることを願うばかりです。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢化が進み、運動やスポーツの推進は健康維持の面だけでなく地域の活性化のためにも大切なことと思います。それぞれ自分の趣味や能力（体力）に合わせて生き生きと取り組めるようお願いいたします。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	70代後半ともなると、過激な運動は無理なので、せめて歩くこと、唯一パークゴルフが楽しみの一つです。その合間に野菜作りで体を動かしています。大目小の近くですが、卓球台があると思うんですが、気軽にできたら良いと思います。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢でもありますので、テレビ見たりと自分なりの運動をしています。交通手段や自分の年齢に比較しながら、自分なりの運動が一番合っているのかと、痛感しています。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢になると、地域で手軽にできる健康的レクリエーションスポーツの普及を願います。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢化が進む日々、手軽に運動ができるスポーツの普及をお願いしたい。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢で車も運転できず、足も不自由で、外に出たくともひとりでは不安だ。誰とも会話はなく、テレビと本だけ。近所付き合いも無くなり淋しい人生だ。昔のとなりぐみ組織がなつかしい。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	今回のアンケートでは、改めて運動・スポーツの意義を感じました。友人・知人とは、食や終活の話題になってしまいがちですが、シフトチェンジして、高齢者にもできる運動・スポーツを無理のない範囲でトライして、意識改革をしていこうかなと。日々の努力が健康、体力につながるという認識を得ました。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	高齢者が気軽に参加できるレクリエーション的なものを、地区の集会所でできるものを推進して欲しい。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第II章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	数年前に運動推進サポーターの研修を受け、現在、地区で活動していますが、大変有意義な研修だったと思う。この研修が65歳までの人を対象にしている、参加者が少なくなっているようだが、70歳代の人たちも健康づくりの運動の研修を受ける機会を広げてほしいと思う。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	栗原市には、他には引けを取らない素晴らしい大自然があります。それと運動を兼ね備えた行事であれば、多くの人たちが参加するのではないのでしょうか。栗原市再発見にもつながりますし、家の中にいる人たちをいかに外に出て、楽しく体を動かさせるか、老人にはそれが大事かと。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者	自分たちは高齢者なので地区の健康教室等で十分です。若い人たちはいろいろあると思います。
1節 生涯スポーツの推進	3.高齢者（子ども）	地域の特徴に関連付けた、肥満児への運動の勧めや、高血圧の高齢者に向けた心筋梗塞予防、脳梗塞予防。農作業が減る時季に合わせた室内での運動の勧めなどに、力を入れてもらいたい。
1節 生涯スポーツの推進	4.働く世代	予約の取り方を見直してほしい（ネットの活用など）。スポ少を優先するのは仕方ないかもしれないが、働き盛りがもっと運動機会を増やすためにも、使用のあり方について検討していただきたい。目玉となるスポーツ施設の整備を期待しております。
1節 生涯スポーツの推進	4.働く世代	青少年の心と体の健全な育成のために、また、中高年の健康増進のためにもスポーツの推進は必要と思います。
1節 生涯スポーツの推進	4.働く世代	現在、育休中で子育てをしながら自宅内にこもることが多いのですが、育休前と比べかなり体力が落ちてしまったと感じています。天気の良い日にベビーカーで散歩と思っても、車通りが多くなかなか散歩をできずにいます。自宅内での筋トレは続かず。子育てをしながら体力維持もできそうな、地域での活動や情報があるとうれしいです。
1節 生涯スポーツの推進	4.働く世代	仕事上、運動等に参加できない。子供たちの部活においても親の送迎が必要で負担が大きい。
1節 生涯スポーツの推進	4.働く世代（女性）	平日は仕事と家事でなかなか時間が取れないので、土日でスポーツ教室をやってほしい。（小学生以下の子どもと親と一緒に参加できる教室理想）。マタニティヨガなど、栗原市内でもやっていただけたら嬉しい。
1節 生涯スポーツの推進	5.スポーツクラブ	栗原市は子を宝としていろいろサポートしていただき、とてもありがたいです。その子を満足にスポーツ（部活）をさせたり、運動する機会を与えてあげたりさせたいので、いろいろな教室の開催や、イベント等があると嬉しいです。ゴールデンキッズやアスリートキッズは、今後も続けてほしいです。
1節 生涯スポーツの推進	5.スポーツクラブ	わかやなぎスポーツクラブのような活発な活動をされているクラブの設立を希望します。山登り、ノルディックウォーキング、やりたい人、やっている人各地域にはたくさんいると思います。みんなでやれば楽しくなります。
2節 競技スポーツの推進	6.競技力向上	スポーツは無形のチカラがあります。栗原市をアピールできるようなスポーツ、スポーツ選手を生み出す施策が必要。
2節 競技スポーツの推進	6.競技力向上	栗原のスポーツの歴史の発刊を。生涯スポーツのすすめ（成人・高齢者へ）。一流選手育成プラン（青少年へ）。
2節 競技スポーツの推進	6.競技力向上	モータースポーツの新設。自転車競技やサイクリング。スポーツ医学の観点での筋力トレーニング施設と各クラブ活動で重要な筋肉増強法のアドバイスとコーチング団体新設。
2節 競技スポーツの推進	6.競技力向上	これまで以上のご尽力がこれからは必要とされるかと思います。各個人の努力が、スポーツ推進へ良き結果として現れますように、陰ながらご支持しております。
2節 競技スポーツの推進	7.学校部活動	自分の健康状態にあわせた運動を選択できると良い。公立学校の部活動は、参加することや仲間を作るという目的が良い。強制的にするものではない。強くなる、技術の向上は、長時間やればよいものではないので、方法などを検討し、短時間で集中してやるべき。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
2節 競技スポーツの推進	7.学校部活動	成長期の子供たちが体を痛めてしまうような無理な運動量ではなく、適度な体力づくり、そして運動が楽しいと思えるような教室や部活があると、運動が身近に感じるかと思います。
2節 競技スポーツの推進	7.学校部活動	各小・中学校の少子化によるチーム編成困難によりスポーツ活動が維持できない。部活を選べない。子供たちが不憫。
2節 競技スポーツの推進	7.学校部活動	少子化の流れから部活動の制限についての理解はできますが、自分の学区にやりたい部活がないため、転校するケースがありますがその転校先については個人で決められるようにしてほしい。
2節 競技スポーツの推進	7.学校部活動	学校でのスポーツ強化の取り組みへ重視を置いてほしい。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	指導者に対する報酬を市が支援してほしい。現在では、ボランティアの色が濃いが、指導者も休日を使ったり交通費等を自己負担しています。高額ではなく気持ち程度でも良いので。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	スポーツ指導者が厳しすぎて、続けられないこともよく聞きます。安心してスポーツができるようにお願いしたいです。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	勝つために辛い思いをするのが当たり前ではなく、勝ち上がっていくためには、どんな技術が必要で、それを習得して、ひとつひとつ勝ち上がっていくのが本当の喜びということや、社会人になってからのひとりの人間としての自信に繋がるための礎になることを、運動やスポーツを通して教えていくことが大切だと思う。指導する側の魅力を発信することも必要ではないですか。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	年代別のスポーツ環境の設定（区分け）。運動とスポーツの違いの明確化。競技スポーツと楽しむスポーツ環境の明確化及び人材育成。正しい知識を持った指導者の育成。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	小学生は走って体力を造り。中学では好きなスポーツを色々やって。高校で1本化できれば良いと思います。スポーツのカルテを作って、本人が理解して大人になれば子供も指導していくと思います。中長期的な視点で計画を立て、市民に理解して頂ければよいと思います。自分の代だけのパフォーマンスと、バトンタッチの相手も担当した分のパフォーマンスを理解してカルテをまた次の代に引き継いでほしいです。打ち上げ花火は最悪です、後世に何も残さない。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	子供が以前、中学校で部活動をしているとき、指導者がいなく、夜練習、休日練習ができなかった時が多く、かわいそうだった。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	高校や中学の指導者には、教員以外でもできるようにすればいい。指導者が夢であった人には、夢が広がるうえ、教職員の負担も減る。2005年には甲子園に出場した一迫商業の部員は0人を気にするべき。もう一度復活させられるようなプロジェクトを実施してほしい。そして栗原市のスポーツを活性化させる為には、東北大会、全国大会に行った事のある学校を取材してみるのも良い。一迫商業野球部、築館高校の陸上部など。たくさん強さの秘訣が隠されていると思う。他にも栗原市の野球場を整備してプロ野球楽天2軍戦を誘致できれば盛り上がると思う。また、サッカー専用施設の整備やプロサッカークラブの創設などにも力を入れてほしい。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	各種競技の指導可能な人材の発掘。適切な環境（施設も含め）と安全を守る指導者の育成。コロナが終息後、交流試合により力をつける。体罰、言葉の暴力は絶対禁止。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	無理せず、自分の体力に合った運動と、能力を向上させる為の運動と、目的を分けて運動することで、さまざまな企画に参加する方が増えると思います。その為にも、きちんとした指導者の育成が大切だと思います。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	問16について。令和5年度からは、土日の部活動に関しては、希望する先生だけが指導することとなります。もともと、土日については、校長は部活の指導の命令はできません。よって、早い段階から、学校教育課と社会教育課が手を取り合い、市教育委員会としての枠づくり、方針を明確に示すことが肝要と考えます。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	所属するソフトテニス協会の指導者の年代層が高く、今後の人材不足へつながりそう。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	若い人よりも、中高年の筋力、体力を鍛える必要がある。自覚して色々な事に参加している人はいいが、何にも参加せず、腰痛、膝痛、肩こり、股関節痛等、病院にばかり頼っている人が多い。病院では加齢だからと言われることが多いらしい。そう言う方々に特にストレッチや筋トレの大切さや重要性を知ってもらいたい。各地区での定期的な指導の必要性を感じている。コロナが落ち着いたら是非、取り組んで頂きたい。
2節 競技スポーツの推進	8.指導者育成	子供達にスポーツに関心を持ってもらうことが底辺ではないでしょうか。それに伴ってそのスポーツのOBなどに声をかけて指導にあたってもらう。いろんな人が参加できる大会、レクリエーションスポーツをイベント的に開催し、盛り上げていけると楽しいのではないかと。
3節 スポーツ環境の整備充実	9.女性・障害者	元気な人々ばかりでなく、体が不自由でも輪の中に入り「楽しいな」と感じられるスポーツレクリエーションができるとよいかも！？と思ってます。
3節 スポーツ環境の整備充実	9.女性・障害者	女性が一人でも行けるようなジムがあると良いなと思っています。女性専用ジムなど、個室にするなどすれば行く人が増えそうだと思います。
3節 スポーツ環境の整備充実	9.女性・障害者	アンケート調査に協力しましたが、健康な人の調査で、内容的にスポーツが好きでも、参加できない人が多数いると思う。高齢者になり、不自由な人、足腰が悪い等、そういう人たちの育成は1問も問答がない。
3節 スポーツ環境の整備充実	9.女性・障害者	幼児とも一緒に参加できるものがあると、親子で参加しやすいと思いました。マタニティヨガ等があると、同じ妊婦さん同士で情報交換等の交流の場にもなるので。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	スポーツを行う場所が近くにないのが一番の悩み。歩いて行ける場所にあればよいと思う。（賛沢かな）
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	運動をしたくても、なかなかやりに行く環境がない。コロナなので1人でやれる運動がメインになるため、安く通えるジム、運動施設があると続けやすいと思います
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	既存の体育施設の有効活用をして欲しい。特に平日等、体力づくりのためにトレーニングジムを利用したいが、仕事の関係で利用できる時間が、もう少し遅くまで利用できるようにしてもらえると利用しやすいと思います。現在は、市外のスポーツジムなどに通っています。できれば、市内の施設を利用できるのがベストなのですが。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	運動後に身体を休める、リフレッシュできるような温泉施設のような施設も欲しいです。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	バスケットボールなどの試合が出来るような大きな施設や体育館があると良いと思う。維持するのが大変だけど、市民に興味を持ってもらうためには、あると良いと思います。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	コロナの発生により、ジム通いをやめてしまった。また、子供が使用出来ないジムで時間を見つけるのが大変だった。スポーツする時間確保が難しい。休みは子供の行事などでほとんど終わってしまう。広くて、清潔で子供と一緒にできるジムを希望します。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	もっと遊べる、動ける場所を作るべきです。（屋内の）
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	子どもたちや孫たちも遊べて学べる場所、家族や友達も連れていける場所を新設して欲しい。子どもが学生の内や、スポーツ選手が家族にいる家庭は、観戦などに行くが、子どもが社会人になると機会もなくなる。気軽に子どもたちや孫たちがスポーツ観戦やスポーツを楽しめる場所、プロスポーツを見れる場所があれば良い。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	子供がスポーツで旧体育館を利用し大会や練習場所として利用させて頂いておりますが、旧鷺沢中学校の体育館のバスケットゴールが老朽化しているので、旧体育館を整備し安全にスポーツができる環境を市で作りなおして欲しいです。宜しくお願い致します。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	若柳にトレーニングジムを増やしてほしいです。（登米市にできたジムのようなもの）
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	近くにパークゴルフ場がほしいです。仕事の合間を見て、気軽に行ける場所があるとよいです。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	運動は大切なこととわかってますが、なかなか自分に甘えが出てしまい、続けることは難しいです。遠くに行つてまで行くことも、面倒に感じます。自分が好きな時間に運動ができる場所もなかなかありません。高いお金がかかる場所は無理です。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	持病がある人でも、水の中でも歩けるので、プールがあればいいと思います。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	新たに施設設備を作ることはしなくてよいと思う。財政的に無理があるのでは。管理も大変では。今ある施設を活用して、誰でも気軽にできるレクリエーション、スポーツを普及してほしいです。安心できる指導者の育成も必要ですね。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	街中などは、ランニングもしづらい方がいらっしやると思うので、その辺の対策をお考え頂きたいと思います。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	子どもや若い方が気軽にスポーツ・レクリエーションとして、友達、仲間と集えるパーク公園に高齢者も共に集えるような施設があると良いのでは。中・高校生が学校外帰りに軽く体を動かせる場所が、市内に数多く点在すると良い。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	健康推進、健康寿命の延伸にしろ、地域の活性化、定住促進にしろ、スポーツの影響力は大きいため、環境を整えるのは大事だと思う。以前、宮野に複合施設ができるかもと聞いたときは、周りの多くの若者達が心を躍らせていただけに、消沈も大きかった。その時のアンケートにも思いを込めて書いたが、声が届かなかった。高齢者も大事だし若者も大事にしたほうが良いよ。阿部貞光さんのように、時代に即した目線好きです。3×3コートの話。子育てはしやすいので、残りたくなる栗原市にしてください。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	築館地区にパークゴルフ場が必要です。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	施設のトイレ（特に一迫野球場）は和式しかないので、洋式トイレを増設してほしい。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	現在、市内でほとんどのスポーツが出来ると思うが武道館と言えるものがない。あればヨガやダンス、体操など考え方で利用できると思う。ホッケーにだけお金を使いすぎている。競技人口が少ないのに設備投資し過ぎでは？
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	市内には大小の施設がありますが、これ以上施設はいらんと思います。ある施設を充実させたり、楽しいスポーツや運動を紹介したり、人材育成、高校生とのふれあい、高齢者が楽しめる運動をする事により、栗原の健康増進を進めていただきたい。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	まず小さいころから運動に慣れ親しんでもらうために、習い事としてではなく、遊び感覚で行ける施設がほしいと思う。（なるべくお金はかからないように）。その近くにゲートボール場があったりすれば、世代間交流にもつながるかもしれない。必ず大会を目指すものばかりではなく、気軽に運動に参加できるものがあると思う。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	勿論、記録者が出ることは望ましいが、けがや事故のない健全で安全な運動スポーツに心がけてほしい。楽しく長く続くことが良い方法だと思う。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	金成支所駐車場にあるバスケットゴール、私が学生の頃に作られ使っています。現在、ゴールがあるにも関わらず、駐車線の線が引かれ、いつも車が停まっています。私の子どもがミニバスをスポ少でして、家にゴールが置けないので、この場所はとても大事な場所です。ゴールのメンテナンスもしておらず、シュートの線は消え、使ってもらいたい場所なのか、使ってほしくない場所なのかよくわかりません。いつ行っても気持ちよく使えるようにしてください。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	中学生が放課後の部活にBGを使用しているようですが、移動時間が多く、いか程の練習ができるのだろうか？移動のなかで、事件、事故に巻き込まれないだろうか？築館高校野球部も照越のグラウンドまで行って練習するようだが、移動時間がもったいない。とても甲子園の夢は無理ですね？この様な問題解決は、誰がするんですか？
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	空き時間に寄れるような施設があったらいいですね。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	一関市の体育施設を利用しています。理由は、多少古くとも整備が行き届いており、ネットにて予約できるためです。栗原市も一関市のようにネットにて一括管理していただくと、良いと思います。また、整備の行き届かない施設は廃止すべき。けが等事故が起きてからでは遅いと思います。使用できるところ、できないところを精査し、使用できるところを整備しながら活用すべき。新たに作る必要はなし。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	家族で楽しめる施設、年寄りにはウォーキングコースなど、全部同じ場所では怖いので、別々な場所で作って欲しい。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	体育施設を増やしてもらえないと、冬季に屋外スポーツが体育館を借用し、屋内スポーツ選手の練習機会が減ってしまっている。でなければ、屋内スポーツの練習機会が減らないよう調整して欲しい。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	市内10地区のなかで、他の地区と比較すると、築館には一番古い施設、モノしかありません。更新を検討してみてください。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	高齢者に最近人気であるパークゴルフ、グラウンドゴルフ等がありますが、広い駐車場があるグラウンドゴルフ場があれば、高齢者が集まると思う。パークゴルフは若柳だけで十分だと思いますが、志波姫にはグラウンドゴルフ場がないのでは。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	体育館等を無料で開放する日を設けてもいいと思う。予約が必要などで子供たちが保護者同伴で気軽に遊べてない。高清水中学校の体育館の利用の仕方を考えるべきだと思う。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	1/22河北新報21面の記事を読んで、こういう施設が栗原市にもあればいいと思いました。これからの高齢者は、デイサービスとかに行くより自主的に選択して、行動する人が多くなると思います。実際、私もこういう場所があるなら、行きたいと思いました。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	仕事や子育てに追われ、時間的に運動やスポーツをする機会がありません。もっと子供が運動やスポーツを行う必要性を感じておりますが、遊ぶ施設や遊具も少ないし、同じ場所に多くの人が集まるので使用するのにためらいます。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	今ある施設の維持費は？コロナ禍での感染対策は？栗駒野球場等すばらしいのもったいないと思う。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	ボールパーク、体育館、プール等の新規施設の増設は、強く反対します。（市の財政を心配しています）。既存の学校の体育館を夜間に貸し出すとか、廃校になった若しくは売り出している学校や施設を貸し出してください。ゴールデンキッズですが、若柳地区のみの開催ではなく、市内5か所で展開してもよいと思います。幼少期からの運動習慣が、大人になってからも続くと思います。栗駒総合体育館の年末年始の休業日が、官公庁と一緒に不便です。民間が運営しているので、年末年始も営業してほしいです。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	閉校された学校をスポーツ施設にするなど使わなくなった場所を再利用できるようにしてもらいたい。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	コロナになる前、太っていて腰も痛かったので痩せない、と思っていました。運動すると腰が痛くなり寝込んでしまう事もあったので、エポカのプールに通おうかなと思っていたら、無くなってしまいショックでした。栗駒のアリーナがありますが（外からも中からも見えるので）行きづらいです。エポカもったいなかったです。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	マイナーなスポーツに費用をかけ過ぎている。特にホッケーについては、費用対効果という面で、人の成長に貢献できているか疑問である。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	コロナ禍はこの先ずっと続くので、何も行政が無理してスポーツを推進したり、わざわざ税金投入して施設や人材育成をすることはしない。施設に関しても今あるもので充分だし、市の財政が厳しいのなら既存施設をどんどん減らして行って、北部と南部に1つか2つずつでいいと思う。健康については自分自身が進んで当然管理すべきものだと思うし、それをスポーツで担うというならするかしないかは市民の自主性に任せて然るべきだと思う。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	人数が居ないと出来ない様な運動等だけでなく、ヨガ等の様な1人で参加出来指導してくれる人が居れば出来る物などを取り入れるとか、場所的に体育館とかだけでなく、各部落の分館とかを活用すれば良いのではないかと思います
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	箱もの建設等、多大なコストを掛けず、既存の施設を生かす施策に期待したいです。ウェットランドのテニスコートにナイター照明及び、社会教育団体の10割減免の適用等に期待したいです。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	ぜひ瀬峰トレーニングセンターのテニスコートを人工芝にして頂きたいです。
3節 スポーツ環境の整備充実	10.施設	施設、人材、情報等が不足し様々な課題があるなかで、如何にスポーツ推進を為されていくのか楽しみです。
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	スポーツ活動における参加しやすい情報の発信
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	運動やスポーツに関する情報や発信が、末端まで届いていないのではないかな。
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	年齢を重ねると今までできていた事も困難になってくるので、ラジオ体操等だったら持続するのではないかと思います。以前ラジオ対応が放送されていましたが、現在は放送されていませんね。コロナ過のこともあるので、集まって何かするのではなく、ラジオ体操等の放送を見直したほうが良いのでは？
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	スポーツを通じて、年齢問わず、出会いの場ともなるため、若い方向けのスポーツの交流会等も開催していただくと良いのかなと思います。また、試合の開催情報やクラブチームの情報も広報以外にも配信したほうが良いのではないかなと思いました。私はクラブチームに入りたいと思っていましたが、どこに何チームくらいあるのか、入るにはどうしたらいいのか、分からなくて困っています。
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	愛好会的な活動をしている人々の情報がほしい
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	高齢化社会なので老人が参加できる様なスポーツ老人が閉じこもりがちなので自分から進んで参加できるよう情報発信をわかりやすくしてほしい。
3節 スポーツ環境の整備充実	11.情報発信	栗駒山や迫川など、豊かな自然環境を生かして、ちょっと出かければ、ウォッチングしながらウォーキングや軽いアウトドアを楽しめるような仕組みが出来ればと思います。なお、アウトドア施設については、登米市のホームページなどでは、そういったものが検索しやすいですね。
3節 スポーツ環境の整備充実	12.アーバン・eスポーツ	eスポーツやモータースポーツ、マイナースポーツの底上げとそれに触れる機会の提供
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	各地域で進めている運動会的な競技がもっとほしい。そして、地域民が応援という形で参加し、盛りあがる行事になってほしい。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	市民運動会、地区運動会等行事に参加するのが少なくなった。日程の関係か？高齢化の関係か？
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	築館の場合、運動会の際など、地区内の若い人の参加が少ないように感じます。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第II章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	気軽なソフトボール、フットサル大会などを、地区対抗で開催してみるのはいかがでしょうか。技術向上などの動機付けにもなると思います。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	中年太りを解消したいと思っています。週1回～2回栗駒総合体育館にて、夜19：00～の教室を開催してほしいです。個人のヨガ教室も（栗駒）コロナで休んでいるうちに人数が多くなり、もう参加できなくなってしまった為。高橋ハルキ先生希望です。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	運動会の種目、例えば、小・中・高・一般のリレー等、人材不足のため削除した。年齢を問わない競技内容にすべき。老人クラブ運動会のような種目でよいと思いま
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	栗駒では小さいころからマラソン大会もない。中学校では運動会もない。そもそも運動する機会を与えていない。環境がわるい。その環境を与え、習慣化することが先では？それもしないで大きくなってから運動しろというのはおかしいと思う。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	地区運動会ですが、部落（各地区）に後継者・若者が居なくなり高齢者が増えてきて参加する人数が減ってきました。地区の代表さんが参加を呼び掛けるのが大変だと思えます。いたとしても40～80才の方も腰が痛い病気など、運動できない人も増えてます。地域交流も大事ですが、参加者が少ないことから地域運動会は無しにしたいと個人的に意見します。検討を願いたい。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	まず、市民運動会は楽しみです。地区行事にインストラクターさんと呼んでの行事も、コロナ終息とともに開催されることを願っています。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	コロナウィルスの感染対策や市内のスポーツ発展に対して、全国にならって何かをするのではなく、栗原市が全国の先頭に立って何かを始めることが勢いが生まれるきっかけになると思います。大変ではありますが、応援しています。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	日程や時間が合えば今後参加したい。いろんな教室等増えることを望みます。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	現在は無理かもしれないが、今後、少年から老人まで一緒にできる軽運動の大会を思案してほしい。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	各年代に合ったスポーツの開催。月1回位の割合で開催など
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	市内は施設の数はそろっていると思います。継続して何かのレクリエーションや競技大会を開いてほしいです。以前カナダのホッケーチームが来て試合が行われたり、社会人のホッケーリーグ戦をしたりして楽しかったです。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	町の運動会は時代に合わないと思う。人口減少により人が集まらなかつたり、一人に何役もしてもらうなど負担が大きすぎる。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	普段運動やスポーツ類に参加できない人でもできるレクリエーションを考えてほしいです。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	いろんなスポーツの教室を開いてほしい。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	コロナで大会や練習試合などが少し減って寂しい。父の家庭バレーも少なくなった。地区によって、スポーツへの関心（参加）が少なくなつたりする。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	家族参加の地区対抗のスポーツ大会を行ったらいい。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	市のヨガ教室など、平日に行なっている事が多い為、参加する事が出来ない。平日に働く者にとっても体を動かせるよう土、日にも開催して頂ける機会が増えたらいいなと思います。そうすれば運動をする人が増えるのではないかと思います。
3節 スポーツ環境の整備充実	13.イベント	若者が減るにつれ、地域での運動会や野球、バレーなどの大会はどうしても参加者が減りそのもの自体がなくなりつつあります。年1、そこで集まるのを楽しみにしている人もいたのでなんとか守って行けたらと。 後は地域での100歳体操など高齢者向けのレクリエーションなどコロナが収まってくれば活発にして欲しいと思います。
その他	14.その他	運動やスポーツの推進に限らず、変えていく事は大変だと思います。でも、栗原が活性化することは嬉しいです。多様な結びつきと影響を考えていた方向に進んでいただければと思います。ありがとうございました。頑張ってください。

市民の運動スポーツに関するアンケート調査

関連施策（第Ⅱ章 施策の展開）	種別	Q18.運動やスポーツの推進に関するご意見ご感想などがありましたら、ご自由に記入ください
その他	14.その他	増々高齢化が進む栗原市においては、高齢化社会における社会教育の在り方の検討が課題である。課題解決のための方策の一つがスポーツ推進計画であろう。スポーツをどのレベルで提起していくかも含めて、自治体の知的関心度が問われることになる。輝くくりはら日本一大賞は素晴らしいことだと思うが、小・中学生の参加人数が少ない優勝者にまで与えてしまうのは、将来を見誤らせることにつながるかもしれない。
その他	14.その他	運動・スポーツの推進は大事なことだと思います。私の出来る運動は、年なので言うことないですが、室内であればバドミントン、卓球、それに登山であればこと歳でもなんとか出来るかなとは思いますが、あの頃の登山にはもどれないとあきらめていますけど。
その他	14.その他	瀬峰駅周辺をもっと有効に使って市外との行き来を活発にしてほしい。
その他	14.その他	運動やスポーツに参加していないのでわからない
その他	14.その他	今現在はコロナ禍で密になる各スポーツは停止してほしいです。
その他	14.その他	コロナ禍で人を集めるのは難しい。今はじっと我慢の時です。
その他	14.その他	とにかく栗原市の職員は何をするにも遅すぎる。市の職員はやる気なし。登米市の職員を見習え。市長もいるのかいないのかパツとしない。
その他	14.その他	スポーツ推進計画の今までの取り組みが全然わかりません。目に見えて分かるような計画、取り組みをしなければ意味が無いように思えます。これからの取り組みに期待しています。
その他	14.その他	スポーツの推進は、役人で決めないで、活動している人にしてもらいたい。個人でするものではない。
その他	14.その他	半強制的な推進委員の選任、選出はやめてほしいです
その他	14.その他	廃校の利用で施設予算分配による。マイナー競技へ。
その他	14.その他	このアンケートでスポーツをしていないことを実感した。今後、運動を取り入れていきたい。
その他	14.その他	私自身、必要ないと考えている人間なのですべてお断りしたいのですが、やはり周りの同調圧力など迷惑な力が働き断りづらいのが現状です。断る際に罪悪感がないような仕組みが必要と思います。
その他	14.その他	スポーツも大切ですが、子どもたちの勉強のほうを、全体的にレベルアップ出来るように、先生方、よろしくお願いします。心身ともに強く、優しく、賢く、を目指して。
その他	14.その他	同級生からいじめられるわ、ヤジを飛ばされるわ、そのような事が無くならない限り、いくらスポーツを推進しようが、無駄です。夏休みのミニサッカーってまだ強制なんじゃないですか？
その他	14.その他	3年位前に転倒してケガをしているので、運動が苦手になっているので？いまだに通院しています。
その他	14.その他	健康が非常に重要だと思います
その他	14.その他	若い時はバスケット、マラソン、野球等やりました。
その他	14.その他	退職後は太極拳と焼き物（陶芸）をしばらくやってみました。

第Ⅳ章 資 料 編

◇栗原市スポーツ推進計画策定経過

◇栗原市スポーツ推進審議会名簿

第Ⅳ章 資料編

◇栗原市スポーツ推進計画策定経過

年 月 日	内 容	備 考
平成19年 5月23日	社会体育担当者会議	策定趣旨等の説明、スケジュール（案）の検討
6月19日	社会体育担当者会議	策定概要の作成
6月29日	栗原市教育委員会	議案第7号により諮問承認
8月 2日	栗原市スポーツ振興審議会	審議会へ諮問及び概要説明
8月31日～9月 7日	アンケート調査の実施	
9月20日	社会体育担当者会議	栗原市スポーツ推進審議会
10月11日	栗原市スポーツ振興審議会	結果分析の審議
12月26日	栗原市スポーツ振興審議会	素案の審議
平成20年 2月 8日	栗原市スポーツ振興審議会	素案の審議
2月12日	社会体育担当者会議	
2月19日	栗原市体育協会との意見交換会	
3月11日	栗原市スポーツ振興審議会	答申
3月26日	栗原市教育委員会	計画決定
平成22年12月 1日 ～12月24日	アンケート調査の実施	
平成23年 3月22日	栗原市スポーツ振興審議会	結果分析の審議
平成24年 3月22日	栗原市スポーツ推進審議会	審議会へ諮問、答申
平成25年 2月 8日	栗原市スポーツ推進審議会	改訂（案）の審議、承認
2月18日	栗原市教育委員会	改訂決定
平成27年 3月19日	栗原市スポーツ推進審議会	改訂素案の審議
4月16日～4月30日	アンケート調査の実施	
7月14日	栗原市スポーツ推進審議会	
平成29年 7月18日	栗原市スポーツ推進審議会	改訂趣旨等の説明、スケジュール（案）の検討
11月30日	栗原市スポーツ推進審議会	改訂内容の説明
12月27日	栗原市教育委員会	議案第52号により諮問承認
平成30年 1月30日	栗原市スポーツ推進審議会	審議会へ諮問、素案審議
2月14日	栗原市教育委員会	答申の確認
4月 8日～4月27日	パブリックコメント	
5月16日	栗原市スポーツ推進審議会	答申
5月23日	栗原市教育委員会	答申の確認
6月 1日	庁議	重要案件報告
令和4年1月14日 ～令和4年1月28日	「市民の運動・スポーツに関するアンケート調査」の実施	標本数2,000人（男・女1,000人）
令和5年 8月23日	栗原市教育委員会	議案第29号により諮問承認
8月25日	スポーツ推進審議会	審議会へ諮問、スケジュール、策定案方針の説明
9月 1日	庁議	重要報告案件（策定案の説明）
9月 8日	議員全員協議会	策提案配布・パブリックコメントの実施
10月6日～10月25日	パブリックコメント	
11月16日	スポーツ推進審議会	パブコメ結果報告、最終案の答申
11月24日	栗原市教育委員会	答申の確認
11月28日	庁議	重要案件報告

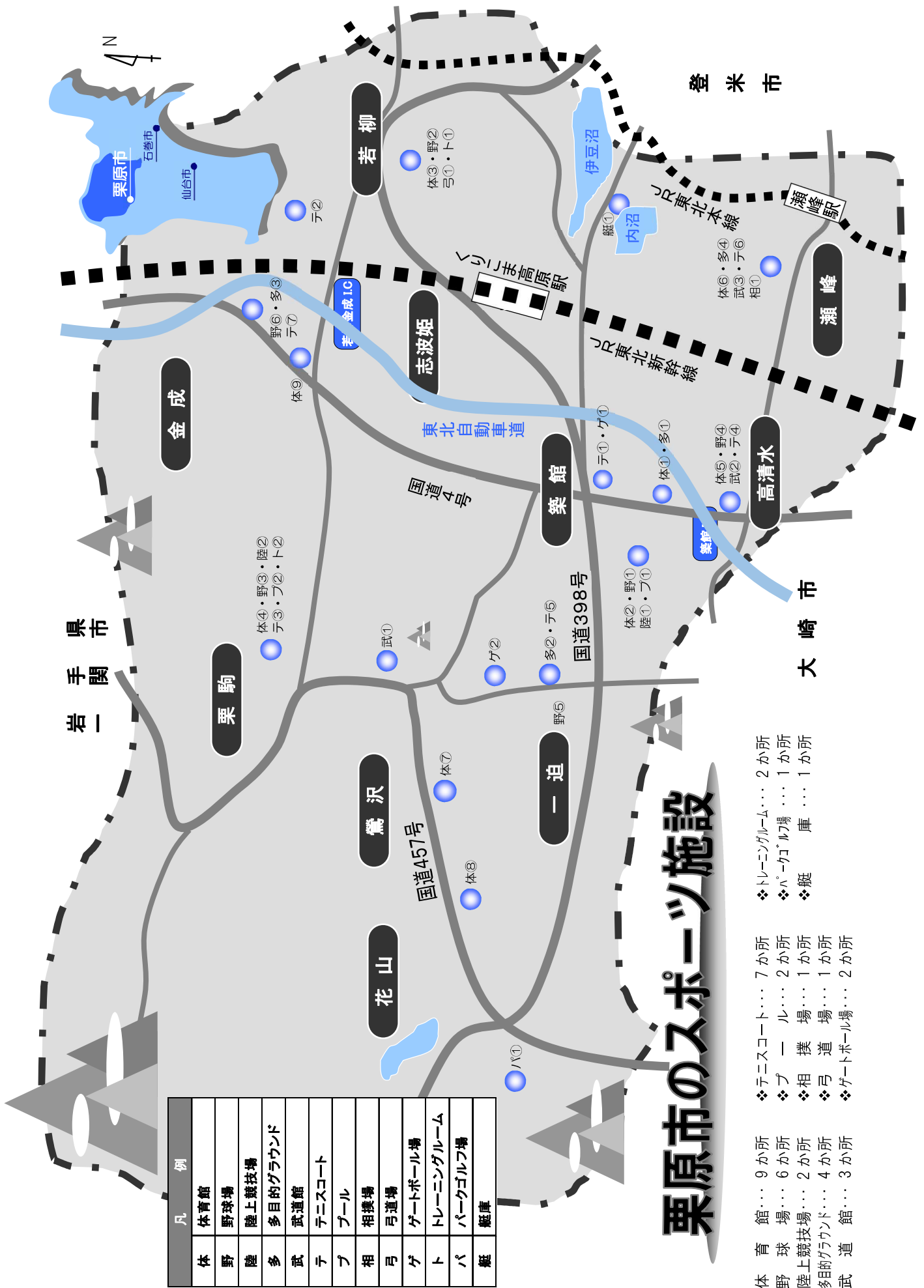
◇栗原市スポーツ推進審議会名簿

任期（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

役職名	氏名	備考
会長	久我俊一	栗原市スポーツ推進委員
副会長	佐藤健治	高清水地区
委員	長谷川守行	築館地区
委員	佐藤秀行	若柳地区
委員	小達訓雄	栗駒地区
委員	曾根一徳	一迫地区
委員	平敏朗	瀬峰地区
委員	葛岡久次	鶯沢地区
委員	岩渕博文	金成地区
委員	菅原歩	志波姫地区
委員	高橋誠一	花山地区
委員	成瀬啓	小学校長会
委員	村上卓	中学校長会
委員	山崎健二	市内県立学校長会
委員	鈴木正弘	NPO法人栗原市スポーツ協会
委員	曾根とも子	栗原市スポーツ少年団本部
委員	清水和良	老人クラブ連合会
委員	金子万治郎	身体障害者福祉協会
委員	高橋憲子	保健推進委員



社会体育施設概要



凡 例	
体	体育館
野	野球場
陸	陸上競技場
多	多目的グラウンド
武	武道館
テ	テニスコート
プ	プール
相	相撲場
弓	弓道場
ゲ	ゲートボール場
ト	トレーニングルーム
パ	パークゴルフ場
艇	艇庫

栗原市のスポーツ施設

- ❖ 体育館… 9か所
- ❖ 野球場… 6か所
- ❖ 陸上競技場… 2か所
- ❖ 多目的グラウンド… 4か所
- ❖ 武道館… 3か所
- ❖ テニスコート… 7か所
- ❖ プール… 2か所
- ❖ 相撲場… 1か所
- ❖ 弓道場… 1か所
- ❖ ゲートボール場… 2か所
- ❖ トレーニングルーム… 2か所
- ❖ パークゴルフ場… 1か所
- ❖ 艇庫… 1か所

● 体育館

① 築館体育センター

栗原市築館高田二丁目 8-12

【問合せ先】 ☎ 0228-23-6491 FAX 0228-23-6491



〔概要〕

- ・バレーボールコート (2面)
- ・会議室

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	310円	150円
会議室	210円	100円

② 築館B&G海洋センター体育館

栗原市築館字荒田沢 41-241

【問合せ先】 ☎ 0228-22-4840 FAX 0228-22-4847



〔概要〕

- ・バレーボールコート (2面)
- ・会議室

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	310円	150円
会議室	210円	100円

③ 若柳総合体育館

栗原市若柳字川南道伝前 125-2

【問合せ先】 ☎ 0228-32-3313 FAX 0228-32-7910



〔概要〕

- ・メインアリーナ バasketボールコート 2面
バレーボールコート 2面
- ・サブアリーナ
- ・会議室 4室、ミーティングルーム
- ・観客席(常設 1,002席)

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
メインアリーナ	1,250円	620円
サブアリーナ	210円	100円
会議室	210円	100円

④ 栗駒総合体育館

栗原市栗駒岩ヶ崎裏山 221

【問合せ先】 ☎ 0228-45-5885 FAX 0228-45-5882



〔概要〕

- ・Basketボールコート 2面
バレーボールコート 2面
- ・会議室
- ・観客席(常設 504席、移動式 400席)

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	1,250円	620円
会議室	210円	100円

⑤ 高清水体育センター

栗原市高清水忽滑沢 29-57

【問合せ先】 ☎ 0228-58-3636



〔概要〕

- ・バレーボールコート 2面
- ・会議室

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	310円	150円
会議室	210円	100円

⑥ 瀬峰トレーニングセンター

栗原市瀬峰大境山 24-16

【問合せ先】 ☎ 0228-38-3935



〔概要〕

- ・バレーボールコート 2面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	310円	150円
会議室	210円	100円

⑦ 鶯沢体育館

栗原市鶯沢南郷下久保前 3-2

【問合せ先】 ☎ 0228-55-3141 FAX 0228-55-2424



〔概要〕

- ・バレーボールコート 2面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	310円	150円

⑧ 細倉体育館

栗原市鶯沢南郷原 38-3

【問合せ先】 ☎ 0228-55-2035



〔概要〕

- ・バレーボールコート 2面
- ・会議室

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	210円	100円
会議室	210円	100円

⑨

金成体育センター

栗原市金成沢辺町沖 200

【問合せ先】 ☎ 0228-32-2127 FAX 0228-32-6840



〔概要〕

- ・バレーボールコート 2面

〔利用料金〕

1時間あたり

	一般	高校生以下
アリーナ	310円	150円

● 野球場

①

築館野球場

栗原市築館荒田沢 41-241

【問合せ先】 ☎ 0228-22-4840 FAX 0228-22-4847



〔概要〕

- ・グラウンド 2面（メイン・サブ）
- ・管理棟
- ・ナイター設備

〔利用料金〕

1時間あたり

	一般	高校生以下
メイングラウンド	620円	310円
サブグラウンド	310円	150円
会議室	210円	100円
ナイター設備	6,280円	3,140円

②

若柳野球場

栗原市若柳字川南道伝前 125-2

【問合せ先】 ☎ 0228-32-3313 FAX 0228-32-7910



〔概要〕

- ・グラウンド 2面（メイン・サブ）

〔利用料金〕

1時間あたり

	一般	高校生以下
メイングラウンド	520円	260円
サブグラウンド	310円	150円

③ 栗駒野球場

栗原市栗駒岩ヶ崎裏山 216-64

【問合せ先】 ☎ 0228-45-5885 FAX 0228-45-5882



〔概要〕

- ・グラウンド 2面（メイン・サブ）
- ・管理棟
- ・ナイター設備

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
メイングラウンド	620円	310円
サブグラウンド	310円	150円
会議室	210円	100円
ナイター設備	6,280円	3,140円

④ 高清水野球場

栗原市高清水忽滑沢 29-1

【問合せ先】 ☎ 0228-58-3636



〔概要〕

- ・グラウンド 2面（A・B）

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
グラウンド	520円	260円

⑤ 一迫野球場

栗原市一迫柳目字曾根龍雲寺下地内

【問合せ先】 ☎ 0228-57-6055 FAX 0228-57-6056



〔概要〕

- ・グラウンド 1面
- ・ナイター設備

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
グラウンド	620円	310円
ナイター設備	6,280円	3,140円

⑥ 金成野球場

栗原市金成大平 13-37

【問合せ先】 ☎ 0228-42-2948



〔概要〕

- ・グラウンド 1面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
グラウンド	520円	260円

●陸上競技場

① 築館陸上競技場

栗原市築館荒田沢 41-241

【問合せ先】 ☎ 0228-22-4840 FAX 0228-22-4847



〔概要〕

- ・ 第三種公認 400m全天候トラック 8レーン
- ・ 補助競技場 100m直線路 150mトラック
- ・ 管理棟、放送室

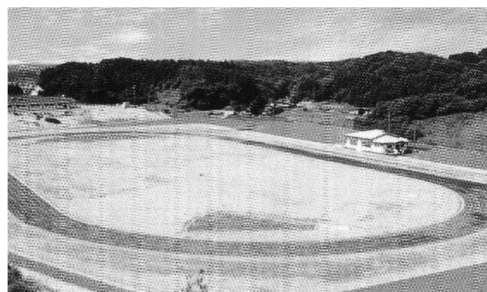
〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
競技場	1,040円	520円
会議室	210円	100円

② サン・スポーツランド栗駒

栗原市栗駒岩ヶ崎裏山 211

【問合せ先】 ☎ 0228-45-5885 FAX 0228-45-5882



〔概要〕

- ・ 400mクレートラック 6レーン
- ・ 管理棟

〔利用料金〕 1時間あたり

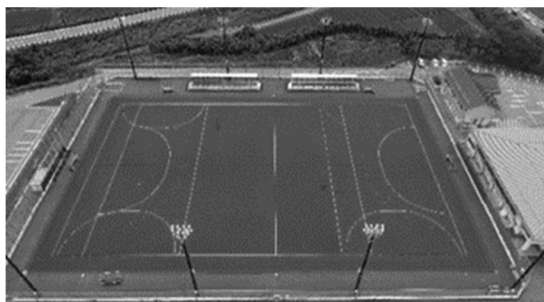
	一般	高校生以下
競技場	620円	310円
会議室	210円	100円

●多目的グラウンド

① 築館多目的競技場

栗原市築館高田二丁目 8-12

【問合せ先】 ☎ 0228-23-6491 FAX 0228-23-6491



〔概要〕

- ・ 人工芝コート(ホッケー) 1面
- ・ " (ゲートボール) 8面
- ・ ナイター設備
- ・ 管理棟

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート	2,090円	1,040円
ナイター設備	6,280円	3,140円
会議室	210円	100円

② 一迫多目的広場

栗原市一迫柳目字曾根龍雲寺下 10-3

【問合せ先】 ☎ 0228-57-6055 FAX 0228-57-6056



〔概要〕

- ・ 人工芝コート(ホッケー) 1面
- ・ " (ゲートボール) 16面
- ・ グラウンド
- ・ ナイター設備

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート	2,090円	1,040円
グラウンド	310円	150円
ナイター設備	3,140円	1,570円

③ 金成多目的広場

栗原市金成大平 13-37

【問合せ先】 ☎ 0228-42-2948



〔概要〕
・グラウンド

〔利用料金〕		1時間あたり	
	一般	高校生以下	
グラウンド	310円	150円	

④ 瀬峰総合運動場

栗原市瀬峰大境山 24-16

【問合せ先】 ☎ 0228-38-3935



〔概要〕
・グラウンド

〔利用料金〕		1時間あたり	
	一般	高校生以下	
グラウンド	310円	150円	

● 武道館

① 栗駒武道館

栗原市栗駒稲屋敷後原 11-2

【問合せ先】 ☎ 0228-45-2225 FAX 0228-45-6025



〔概要〕
・柔道場、剣道場、相撲場(屋内)

〔利用料金〕		1時間あたり	
	一般	高校生以下	
各道場	210円	100円	

② 高清水武道館

栗原市高清水忽滑沢 29-1

【問合せ先】 ☎ 0228-58-3636



〔概要〕
・柔道場、剣道場

〔利用料金〕		1時間あたり	
	一般	高校生以下	
各道場	420円	210円	

③

瀬峰柔剣道場

栗原市瀬峰大境山 24-16

【問合せ先】 ☎ 0228-38-3935



〔概要〕

- ・柔道場、剣道場

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
各道場	210円	100円

●テニスコート

①

築館テニスコート

栗原市築館伊豆一丁目 2-7

【問合せ先】 ☎ 0228-22-4840 FAX 0228-22-4847



〔概要〕

- ・人工芝コート 3面
(うちゲートボールコート併用1面)
- ・ナイター設備

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	520円	260円
ナイター設備	520円	260円

②

有賀運動公園テニスコート

栗原市若柳武鎗字町館 87

【問合せ先】 ☎ 0228-32-2127 FAX 0228-32-6840



〔概要〕

- ・人工芝コート 2面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	520円	260円

③ 栗駒テニスコート

栗原市栗駒岩ヶ崎裏山 216-64

【問合せ先】 ☎ 0228-45-5885 FAX 0228-45-5882



〔概要〕

- ・人工芝コート 2面
- ・ナイター設備

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	520円	260円
ナイター設備	520円	260円

④ 高清水テニスコート

栗原市高清水忽滑沢 29-1

【問合せ先】 ☎ 0228-58-3636



〔概要〕

- ・ラバーコート 3面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	310円	150円

⑤ 一迫テニスコート

栗原市一迫柳目字曾根龍雲寺下地内

【問合せ先】 ☎ 0228-57-6055 FAX 0228-57-6056



〔概要〕

- ・ラバーコート 2面
- ・ナイター設備

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	310円	150円
ナイター設備	520円	260円

⑥ 瀬峰テニスコート

栗原市瀬峰大境山 24-16

【問合せ先】 ☎ 0228-38-3935



〔概要〕

- ・ケミカルコート 2面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	520円	260円

⑦

金成テニスコート

栗原市金成大平 13-37

【問合せ先】 ☎ 0228-42-2948



〔概要〕

- ・ラバーコート 2面

〔利用料金〕 1時間あたり

	一般	高校生以下
コート(1面)	310円	150円

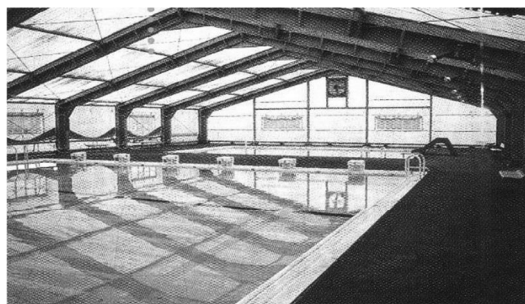
●プール

①

築館B&G海洋センタープール

栗原市築館字荒田沢 41-241

【問合せ先】 ☎ 0228-22-4840 FAX 0228-22-4847



〔概要〕

- ・25mプール 6コース、子供用プール
- ・夏季のみ

〔利用料金〕 1回あたり

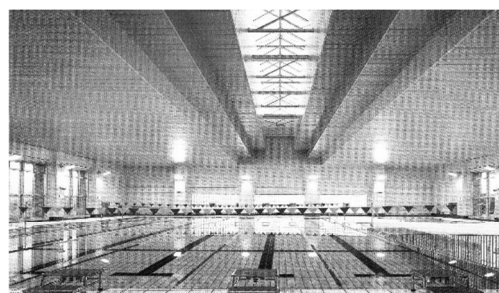
	一般	高校生以下
午前・午後・夜間	110円	50円

②

栗駒プール

栗原市栗駒岩ヶ崎裏山 221

【問合せ先】 ☎ 0228-45-5885 FAX 0228-45-5882



〔概要〕

- ・25mプール 6コース、子供用プール
- ・温水プール
- ・ジャグジー 1基

〔利用料金〕 1回あたり

	一般	高校生以下
午前・午後・夜間	520円	260円

●相撲場

① 瀬峰相撲場

栗原市瀬峰大境山 24-16
 【問合せ先】 ☎ 0228-38-3935



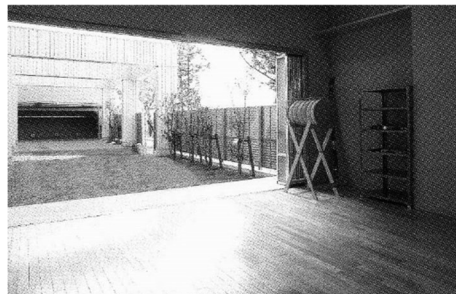
- 〔概要〕
- ・屋外相撲場

利用料金	1時間あたり	
	一般	高校生以下
相撲場	210円	100円

●弓道場

① 若柳総合体育館弓道場

栗原市若柳字川南道伝前 125-2
 【問合せ先】 ☎ 0228-32-3313 FAX 0228-32-7910



- 〔概要〕
- ・三人立ち
 - ・近的

利用料金	1時間あたり	
	一般	高校生以下
弓道場	210円	100円

●ゲートボール場

① 築館ゲートボールコート

栗原市築館伊豆一丁目 2-7
 【問合せ先】 ☎ 0228-22-4840 FAX 0228-22-4847



- 〔概要〕
- ・屋外ゲートボール場
 - ・コート 2面（テニスコート併用）

利用料金	1時間あたり	
	一般	高校生以下
コート(1面)	310円	150円

② 一迫ふれあい交流館

栗原市一迫北沢二本松 1-2
 【問合せ先】 ☎ 0228-52-2115 FAX 0228-52-2361



- 〔概要〕
- ・屋内ゲートボール場
 - ・コート 2面

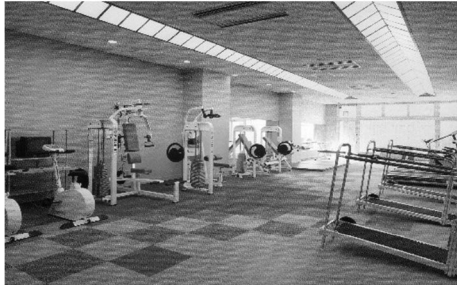
利用料金	1時間あたり	
	一般	高校生以下
コート(1面)	310円	150円

●トレーニングルーム

① 若柳総合体育館トレーニングルーム

栗原市若柳字川南道伝前 125-2

【問合せ先】 ☎ 0228-32-3313 FAX 0228-32-7910



〔概要〕

- ・トレーニングマシン設備

〔利用料金〕 1回あたり

	一般	高校生以下
個人	210円	100円

② 栗駒総合体育館トレーニングルーム

栗原市栗駒岩ヶ崎裏山 221

【問合せ先】 ☎ 0228-45-5885 FAX 0228-45-5882



〔概要〕

- ・トレーニングマシン設備

〔利用料金〕 1回あたり

	一般	高校生以下
個人	210円	100円

●パークゴルフ場

① 小田ダム湖畔パークゴルフ場

栗原市一迫長崎川台 53-5

【問合せ先】 ☎ 0228-54-2880



〔概要〕

- ・パークゴルフ場 36ホール
 - ・Aコース 9ホール
 - ・Bコース 9ホール
 - ・Cコース 9ホール
 - ・Dコース 9ホール

〔利用料金〕 1回あたり

	一般	高校生以下
個人	420円	210円

*1コース貸切利用 1時間 1,880円

●艇庫

① 築館B&G海洋センター艇庫

栗原市築館字横須賀地内 (内沼)

【問合せ先】 ☎ 0228-23-1236 FAX 0228-22-0311



〔概要〕

- ・OPヨット 8隻
- ・カヌー 12隻
- ・ローボート 3隻
- ・12フィートヨット 2隻

開放期間 7月中旬～8月下旬

〔利用料金〕

※利用料金はかかりません

栗原市スポーツ推進計画

令和5年 策定

発行 栗原市教育委員会
編集 教育部 社会教育課

☎989-5171

宮城県栗原市金成沢辺町沖 200

☎(0228)42-3514 FAX(0228)42-3518

■ ||| *The sports promotion plan of Kurihara City* ||| ■